

WALKING STICKS

特 100
384

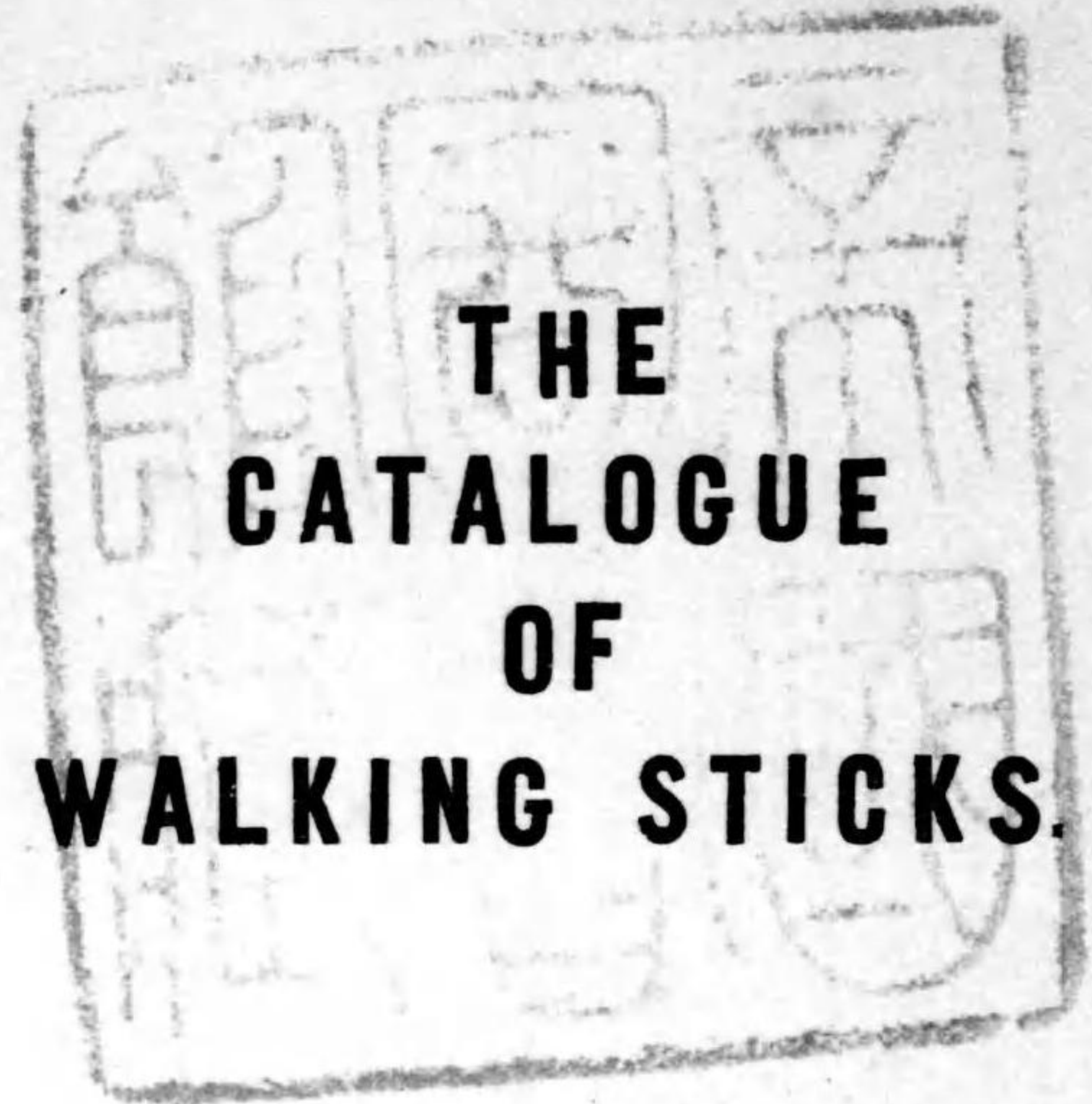
グンキーラ
キツテス



始



特100
384



**THE
CATALOGUE
OF
WALKING STICKS.**

THE HAYASHIYA.
WALKING STICKS AND
UMBRELLAS,

Manufacturers.

No2, SHINSAIWAICHO SHIBA,
T o f y o.

1912.

大正
1.10.21.
内交

チーキング・ステツキ

目次

一チーキング・ステツキ解説目録

○序文○例言○本文

一林屋營業案内

一チーキング・ステツキに就きて

○杖と洋杖の應用○洋杖を作るに就き ○ステツキ用として木材を採集せんとする時の心得○材料を植物學に應用すること○ステツキの持方に就きて

一ステツキ界の新傾向

○ステツキの需要○舶來品と日本品○自然木と流行品

一猫背及撫肩(丸き肩)に就きてのステツキ療法

チーキング・ステツキ解説目録

ブリフエース

仙人の藜あかぎの杖、釋子の楊杖しやくぢやう、老人の鳩杖はこづゑ、行者の金剛杖こんがうづゑ、座頭の瘤杖こぶづゑ、ステツキと言ふとハイカラらしけれど古くは伴大納言ばんのだいなんごんの繪卷物えまきものにも見え、杖袋つゑふくろの故實こじつは有職いうしやくのやかましき説あれば其歴史や極めて古し、更に遡れば南洋のカンニバルかんにばる、犢鼻禪ぶくさぜん穿はかぬマダカスカルまだかすかるの生蕃なまはらまでが杖に似たる棒をもて打物うちものとすと云へば、杖と棒とは其起原を同ふする人間始まつて以來の抑もの兵器なるべく、ズル一の鐘木の棒はステツキとして珍がるもあれど、本と是れ護身の鬪杖也、昔しは和漢ともに武

藝十八般の中に棒を數へたれば、水滸傳の豪傑は能く棒を使ひ、寛永の御前試合には揮杖の名人現れたり、悟空の金箍棒、辨慶の鐵の棒、お祭りの金棒、足輕の六尺棒も亦是れ杖の一つならん、かるが故にステツキを舶來の新らしきものと思ふは誤りにて、人間とステツキとは抑も猿がでんぐり返しを打ちたる曉より離れぬ縁の持物なるべく、世棄人なる行脚の僧も一杖一笠と言ふて杖ばかりは棄てかねたり、七百年の昔し西行が銀猫を鼻糞ほごにも思はずして惜氣もなく里の子に呉れてやりたるくせに風餐露宿の友として節無し實竹の杖を曳きたるは今から思へば大のハイカラ也、兎角にハイカラを目の仇きにする丁髷どもが若い者のス

テツキを無用の沙汰の如く呪ふは人間とステツキとの本能的關係を知らざる故にして、葇若の煙の飢を凌ぐに足らざるも人間を離れたる仙人が霞を喰ひ文字を知らざる野蠻人が得知れぬ草の葉を燻べて吸ふと等しく、ステツキを愛するは人間が持つて生れたる本來の嗜癖にして、「人間とはステツキを持つ動物なり」と何處かの人類學者が必ず云ひさうな事なり、聞くが如くんば歐羅巴にはステツキの蒐集家ありてステツキ館を作りて樂むものもありと云ふ、深山の奇木、名匠の考案集め得たらば人間の歴史を語り人生の消息を傳ふるものなからんや、狂犬の用心棒、ぬかるみの突つかひ棒としてステツキを携ふるものは未だ共にステ

ツキを談ずるに足らざる也

四

子どしの初夏

林屋主人に代りて

砂 邱 子 述

例 言

- 一チーキングステツキを愛する人は必ず其用材の性質を知らんぞ欲すべく、之を知りて益々興味深かるべきなり
- 一チーキングステツキを求めんぞする人は如何なる用材が其趣味を満足せしむべきやを思ふて或は之に通ずるの知識を必要とするならん
- 一チーキングステツキを供給するものも亦必ず先づ其の性質に精しからざれば世間の需要に應じ顧客の満足を買ふ能はざるなり
- 一此三條の理由よりして弊店は専らステツキを販賣する傍ら二三のカタログ及びステツキ蒐集家に聞き聊か調査する處ありしが偶々倫敦スポン會社出版「ウォークシヨップ・プレシート」を繙きたるにステツキ材料の簡明なる解説ありしを見て此の如き目録がステツキ愛用者及び販賣者を裨益する思ふて初めは唯自家の参考

に供するの目的を以て編纂したるものを爰に更めて公にするこ
と、なしたり

- 一 此目録は弊店が曩に調査し置きたるものと「ウオークシヨップ・レ
シート」に載せられたるものを混同し總てA B C 順に排列したり
- 一 植物學上の名稱は松村博士著植物名彙、植物名鑑の兩書に依りて
略同様なる科或は屬の名稱を記入したれども親しく専門家の教
を仰ぐ暇なかりしが故に或は當らざるものもあるべし
- 一 書中羅馬字體にて記せるは普通の英名又は日本名にしてイタリ
ツク體にて記せるものは植物の學名なり又解説文中に原語の振
カナを施したるものは名前の下に原語を記し符號を附せり
- 一 説明の文章拙惡往々要を得ざるものもあるべく、且つ此中に洩れ
たるものも亦頗る少からざるべし、其完全なるは暫く後の賢者に
待たん、唯弊店は此種目録編纂公刊に先鞭を着けたるを以て甚だ
光榮とす

明治四十五年七月

ヨーキング・ステッキ解説目録

附傘柄

林屋編纂

Acacia アカシヤ

1 Crab 2 Podwood

アカシヤの名は植物學上の名稱に非ず、其色合の特有なるため附せられしものにして、
此名稱の下に製作せらるものは何れも木質堅くして且つ着色に容易なるを撰用す、重
なるものは林檎及び山茱萸其他中部及南部歐羅巴の森林に産する山茱萸類似の最も堅き
灌木なり、而してこは獨り洋杖なるのみならず婦人雨傘及日傘の柄として極めて需用
多く、其柄の形は種々に製作せらるるも、色合は一般に金屬光澤を有する青味或は灰か
、りたるものに普通黒き線入りたる木目あるものなり

Akaza アカザ 藜 (*Chenopodium album*) (荳科)

藜には青藜赤藜白藜の如く其種類多くして何れが杖に適當なる材料なるや明かならず、
日本にては古くより老人の杖に用ひられたるが、今日洋杖として製造販賣せらるるやば
不明なるも外國人中には往々所持するものあり、佛國産シモツケの莖の根付が日傘の柄

に用ひらるゝを見れば之れも亦或は傘柄にも用ひらるべきか

Apse アプセ (*Populus tremula*) **白楊の類** (柳葉科) 別名 Asp

アプセは白楊の一種にして、洋杖として鮮なる光澤あるを輕きを以て特性となせし
も欠點なき材料とは言ひ難し

Ash アッシュ (*Fraxinus excelsior*) **榕の類** (木犀科) 1. Root-ash

2. Cross-head
3. Figured-ash

これには多くの種類ありて、商品としての名稱も自然異なれり例へば根付を稱するものは、人工を加へたる若木根付の柄あるものにして指金形を稱するものは根と幹の境より直角に曲げたるものなり又英國のソルリーに於て大規模に栽培せられ僅々二三ヶ年にて其生長中仕付らるゝ模様付を稱するもの、如きは木皮に種々なる模様を現し頗る珍奇なる形をなして世人の深く稱美する所なり



第一圖アツシの鈎形曲に銀帶飾附洋杖)

Azusa アツサ 梓 (*Catalpa Kaempferi*) **紫葳科**

臺灣南投地方より産するものを用ひて洋杖及び傘柄を製す

Bamboo ハンブー (竹科)

竹は主として東洋諸國に産し極めて多種類なるが故に植物學上の種屬を明にする事は至難なり、洋杖として従つて種々のものより製作せらる而て竹 (*Bambusa*) に屬するもの、中にワンポア・ハンブー (*Whampoa bamboo*) を稱するものあり是は *Bambusa melale* より生ずるものにして節の不規則なるを特色とし鮮なるレモン・エロー色を帯びて美しきたため近來日傘の柄として需用多く、又黄竹 (*Yellow bamboo*) 黒竹 (*Black bamboo*) の二種も世人の稱賛する所にして何れも其色を以て商業上の名稱とす、ビートル・ケーン (*Beetle cane*) を稱するものは著しき黒色及根に近き所の鱗状の外見により名づけられたるものなるが、其鱗状の外観頗る美麗なり、ドッグ・ヘッド・マンブー (*Dog-head bamboo*) を稱するものはアルンデナツヤ (*Arundinaria*) に屬し根莖の自然の形が犬の頭に似たるによりドック・ヘッドと稱せらるゝに至りたるものなるが容易に曲るを得之に相應したる彫刻を施して一層犬の形を表示せしむるものなり

第二圖普通のハンブー洋杖に銀頭及胴輪附)



第二圖

Bakow バコー

四

(棕櫚科)

是れは確に棕櫚より作るものなれども現今其種屬は不明なり此ステッキは多く新嘉坡より輸出せらる

Bay Tree ベイ・ツリー

別名 Laurier

* *Eugenia*

是は明にユーヅニヤの類より産するものなれども未だ確定したることは世に知られず、木は非常に堅く木目密にして色白く不規則なる成長にして木皮に覆はれたるシンナモン、ブロン色の根あり傘の柄などにも作れりアルゼリヤより輸出せらる

Beef-Wood ビーフ・ウッド

* *Artisia coriacea*

紫金牛科

此木は鈍き帯赤色にして疎密なる織緯の堅縞の木目あり、槩に大木の幹より切取りたるものにして、其木は多分殊砂根の類なるべし、キューバより輸出せり

Binroji ビンロジ

檳榔子 (*Areca Catechu*)

(棕櫚科)

此木を用ひて稀には傘の棒及洋杖を作れども極めて硬質にて且つ裂け易き爲め人工を以て曲ぐる事不可能なるが洋杖の棒に仕上ぐる時は褐色にして堅き織緯の部分濃褐色を呈し堅縞の木目鮮明に現はれて甚だ美麗なり

第三圖



(第三圖 檳榔子の洋杖)

Birch ビルチ (*Betula alba* 樺木) (樺木科)

樺木の若木を用ひ洋杖を作り又其根は善き傘柄に作られるものにして英國産なり

Blackthorn ブラックソルン

(薔薇科) * *Prunus spinosa*

是は能く世人に知られたる生垣用の植物にして、又小李の類として知られ上等の洋杖に製造せらる、此木を特に整理して磨く時は他に見る能はざる獨特の濃黒色を呈し美しきが故に需用多し又アイルランドよりイングラントへ移植したるものをアイリツシ・ブラツクソルンと稱し此木は扁平なる特性ありて需用又多し

Black Tork ブラック・トーク

植物學上の種屬は不明なり、木皮黒味を帯びて、根に不規則なる節ありて自然柄の形を成せり、此木の質は堅くして密なる木目ありて堅牢なる棒を作るに適し、木皮を剥げば通例輝きたる亞肌にして暗き鶯色の木地を現すものなり、西印度より輸出す

Boxwood ボックスウッド (ヘルシヤ産) (黄楊科)

* *Buxus sempervirens*

こは眞の黄楊にして枝不規則なるを以て皮を剥ぎて初めて洋杖に適す而して堅き幹より切取りたる棒は雨傘の柄又は婦人日傘の柄としても用ひられ彫刻を施したるもあり、此ヘルシヤ産と外觀上至て類似せる木材を用ひて西印度の黄楊としてヘルシヤ産と同様に

廣く應用せらるゝものあれども植物學上の名稱は不明なり、日本の黄楊も亦た種々あれ
ば何種に屬するや不明なれども鹿兒島産の黄楊の若木の根付にてチーキング・ステッキを
作りし、こゝあり木皮を剥ぐ時は亞皮滑アマカハにして黄色を帯べり、未だ商品として作りたるを
聞かず

Briar フリアル

* *Xanthoxylum elaei Heronlis*

(芸香科)

こは西印度の山椒イホにして木皮に疣又は瘤あるよりチーキング・ステッキに用ひて價値あり
、日本山椒の古木の枝には木皮頗る厚くなりて裂鱗を生じ凸凹ありて灰色を帯び古色掬
すべきものあれども外皮厚き爲め曲ぐる能はず、若し曲げたるものあらば曲げる時に剥
れたる木皮を糊にて貼りたるものにして此洋杖は稀に所有する人あれども、未だ商品と
なす程に至らず

Cabbage

キャベージ

* *Brassica oleracea*

(十字花科)

こは普通花園にて栽培せらるゝ甘藍として世人に知らるゝものにして海峡諸島に在りて
は其幹十呎乃至十二呎位に生長するものなり

Carob

カロフ

(*Certhonia siliqua* イナゴマメ)

(豆科)別名 *Caroubier*

此木は三十呎位の高さに生長す、地中海の海岸に繁殖し、節ありて不規則に生長せるも
のを真直に仕上ぐる時は、優等なるチーキング・ステッキなるものなり、アルゼリヤよ

り輸出す

Carolina Reeds カロリナ・リード

(竹科)

是れは竹に似たる細き莖にて明かに *Arundinaria* の種屬なり支那より輸出せらる

Cedar-Wood

セーター・ウッド

(*Juniperus virginiana* 柏ビヤクシン)(松柏科)

此木は普通のメンシル・サイダーなるが、時々用ひらるゝのみにて種類少なきものなり北
米より輸出す、米國製のチーキング・ステッキにはフレンチ・サイダーを用ひたるものあ
り、雖も植物學上の名稱は詳ならず

第四圖



(第四圖米國製フレンチ・サイダーの洋杖)

Celluloid セルロイド

セルロイドにて作りたるチーキング・ステッキは木材を真となしセルロイドを覆ひたるも
のにして外觀美し

Chêne セヒヌ 櫟

(穀斗科)

佛國産櫟の洋杖近頃輸入せり、木質堅くして亞皮アマカハに堅筋ありて雅致あるものなれども、
曲げたるものは未だ輸入せず

Cherry チェリー (*Prunus cerasus* 實櫻)

(薔薇科)

八

- 1 Scented cherry 別名 Weichsel
- 2 Tiger cherry 3 Merisier Français

此木は洋杖及び傘の柄として近年至て有要なるものとなり、此木に二種類あり一は、香櫻と稱して濃褐色の木皮を有し、香氣あるもの故に稀に磨げども多分は磨かずして用ゆ磨く時は香氣を發散せしむるの恐あればなり一は虎斑櫻と稱し美しき金色の虎斑ある皮肌を有し、磨く程よき光澤を發するものにして洋杖及びパイフ用として獨逸兩國に於て盛んに栽培せられ多量の輸出あり亦別に佛國産の野生櫻あり此木は香櫻よりも木皮の色合黒味を帶び、節の際より發して一種の線を有したる模様あり日本にても櫻を用ひて洋杖を作るこゝ近頃行はれつゝあり、植物學上何種に屬するや詳かならずと雖も一つは山櫻にてし木皮堅く曲ぐる時に剥皮の憂あり、一はヨモリ櫻と稱し細き枝にて作りたるものあり、我國にて現今皮付自然もの、重なるものは此二種なるが如しと雖も未だ舶來品の如く特色を有したる完全の材料とは云ひ難し

第五圖



(第五圖香櫻の洋杖) (口繪寫真版第五圖参照)

Chestnut チェスナット 佛名 Chutaignier (*Castanea sativa* 栗樹)

(穀斗科)

スペイン産種の栗樹の枝或は若木を用ゆ皮を剥く時は甚だ鮮なる色にして其質は硬くして堅牢なる洋杖及び傘柄に製作せらる、重に佛國にて産す

Coffee カフィー 珈琲 (*Coffea arabica*) 珈琲科

此の洋杖は通常のアラビヤの珈琲の木にて作るものにして、西印度より輸出す、木質は堅くして重く鮮なる色ある木皮を有す、極めて僅に用ひらるゝのみ

Congo カンゴ 別種 1 Adrelet 2 Bahiados

此棒は世界に於て有名なるものにして何れの國に於ても、チーキング・ステツキ、雨傘及日傘の柄として最も多量に仕用せらる栗の樹の株より生育せる蔓の類にして、植物學上の名稱は詳ならず尙アドレレー及びバヒヤドーと稱するもあり何れも幹に瘤多く而も自然に美術的に配置されたるが以上三種各其瘤の出來具合の特色と木が圓筒状なるものと扁平なるものとあり、佛國并に墺國に於て盛んに培養せらる (口繪寫真版第三圖参照)

Cork コルク (*Quercus Siber*) (穀斗科)

此洋杖はコルク・チークにて作れるものにして外見悪しけれども、木皮即ちコルク (脆栓材) の厚きテコボコ様なる疣あるによりて極めて輕し、スペイン或はアルゼリヤより輸

出す

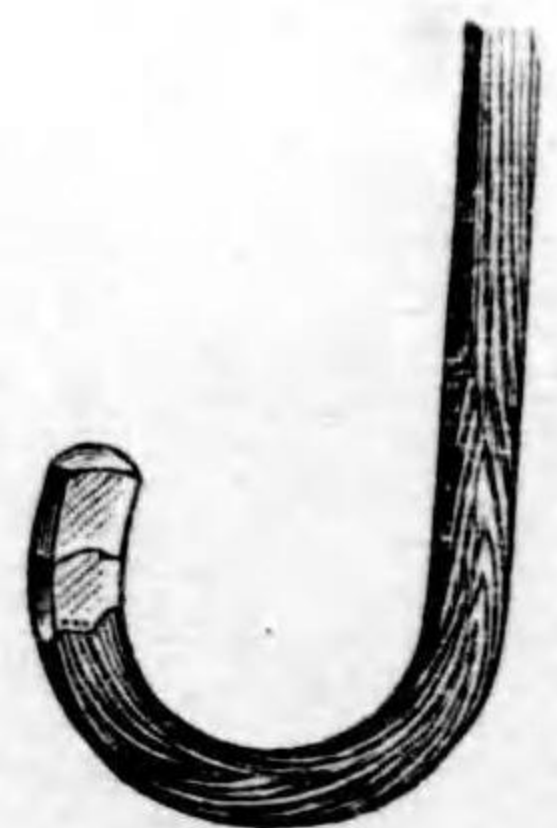
Grab クラブ (薔薇科) * *Pyrus malus*

此木を用ひて二種の洋杖を作り、培養したる野生の林檎にて作りしものは質素なるクラブ・ステッキとして知られ又節多くありて不規則に生長せるものは疣付クラブとして知られしものなり、英國及び歐洲大陸にて産す

Crocus wood クロキコス・ウード

此洋杖は多分サフランの木にて作りたるものならん

(第六圖はクロキコス・ウード角形洋杖)



第六圖

Date Palm 日ト・パムル (ナツメ棕櫚の類) (棕櫚科)

是は小葉を切去りたる中筋を圓滑にし且つ磨きたるものなり原料はアルゼリヤより輸出す

Dogwood ドツグウード (*Cornus sanguinea*) 山茱萸の類

(山茱萸科)

此植物は有名なる生垣用の灌木にして木質堅くして容易に破片となすを能はず、故に屠牛者の串に用ひらる、此特性の外硬質にして且つ光澤あるを以て、チーキング・ステッキ商に需要せらるること多し、チーキング・ステッキとしては尤價值あるものにして尙柱

雨傘及日傘の棒として用ひられ、時々他の柄を付け或は瘤をつけて用ひらるるもあり、佛蘭西、獨乙及歐洲大陸に於て産す

Ebony エボニー (柿樹科)

黒檀の種類は貿易上に在りては Ceylon ebony, Macassar ebony 及び Flowered ebony として知られセーロン・エボニー及マカッサル・エボニーの兩種は *Diospyros ebenum* より作られ、フラツツド・エボニーは全く異なる植物即ち *Brya ebenus* より作られ、初めの二種はセーロン及印度の産にして最良なる眞正の黒檀なれども、後の一種は西印度諸島に産する小木にて時として Green ebony 又は Coeus-wood と稱し笛の製造に多く用ひらる、黒檀は木の中を切取りて至て上等の棒を造るに使用するものなり日本にても黒檀の棒は多く用ひられ最近に於て曲げ得る様になれり、木質堅きものなれば善き黒檀程曲げの時多分の損所を生ず故に柄に別のものを附するを普通となす、尙ほ縞黒檀と稱するは黒色薄く黄色を帯びたる線あり、又青黒檀は床柱等に用ひ亦茶黒檀と稱するは價廉なり臺灣恒春地方より産する毛柿と稱する黒柿にて洋杖及傘柄を作り

(口繪寫眞版第一圖参照)

Egonoki エゴノキ 齋墩果 (*Styrax japonica*) (齋墩果科)

若木及び枝を用ひて雨傘の柄を作り又は洋杖を作れども木質最も柔くして木目細故に

刀を加ふるこき易くして何れも質素なるものに用ひらるゝなり

Eucalyptus ヌーカリタス (桃金娘科) *Blue gum

こは *Eucalyptus Globulus* を原料として作らる青^{フトモ}ゴムとして能く世人に知らるゝ所、元濠洲の野生植物なれども又世界の各地に成長す、チーキング・ステッキ商に供求せらるゝものはアルゼリヤより産出す、ユウカリノ樹を家屋の四圍に植ゆれば瘴氣を防ぐの効ありと唱せり

Fujiki フジキ *Sephora platycarpa* 槐の類 (荳科)

フジキの若木及び枝にて雨傘の柄、洋杖及雨傘の通し棒等を作れり、此木は木目疎にして上等のものに非ずと雖も最も多量に用ひらる

Fuki フキ 落 (*Pelashes Japonicus*) (菊科)

秋山路と稱するもの、莖を以て杖を製するものにして秋田地方及び北海道より産出す雅趣ありと雖も餘り美麗ならず

Fullers' Teazle フールル・チーゼル (*Dipsacus Fullonum* 山蘿蔔の類) (山蘿蔔科)

此植物は普通灌木の林及び生垣に於て自然に生ずる *Dipsacus sylvestris* 山蘿蔔の類) を栽培上に於て變化せしめたるものに特に附したる名稱なるべし、栽培地は英國の或部分

並に佛蘭西獨逸等にて花頭^{フラワーヘッド}の鈎ある蕾を布の節ケツリに用ゆるものなり、日傘の柄として幹を用ゆる時は至て雅致あるものにて、生長の中途に紐にて幹枝等を結束し又は不規則に曲げらる故に結束したる所が自然元形の二倍或は三倍の太さに生育するなり、斯の如き方法を施したるものは普通に出来たるものとは大に趣味異なれり、



(第七圖は結束日傘の柄)

Furze フルズ (*Ulex europaeus* ハリエニシダ) 別名 ^{Whin} (荳科)

こは普く世人に知らるゝ、如く普通の英國産は生長至て不規則なれば、幹を真直に伸して裝飾を加ふる時は甚だ美麗なるチーキング・ステッキ及雨傘の柄となり得て、需用頗る廣し我國にても是を摸刻したるチーキング・ステッキ及傘柄行はる

Grape-vine グレープ・ワイン (*Vitis vinifera* 葡萄 附け蔓類 (葡萄科))

是れは普通の葡萄蔓にして歐米各國に於て最も質素なるチーキング・ステッキ及雨傘の柄に用ひられ、營業者の目録にも載せられざる程のものなり割合に幹堅くして曲げる事も思はしからずと云ふ *Durbar vine*, *Bouilly vine*, *Boularna vine* の三種此頃英國にて行はれりと雖も何種の蔓なるを知らず

“Gru-Gru”

棕栲類の若木なれども、植物學上の起原は明かならず故に *Astrocarpum vulgare* 或は *Aerocoma scleroearpa* の二名稱適用せられ、共に亞米利加産なり、木色は鶯色の濃きものにして節に近く細き白き豎の線有るが爲め頗る美麗なり、根の頭も又趣味あり、此棒は西印度より輸出せらる

Guelder Rose **ギルダー・ローズ** (*Viburnum opulus* **カンボク**)

(忍冬科)

此の棒は能く裝飾し且つ磨く時は最も人目を引くものとなり、幹を覆ふ上皮は白くして深き筋ある濃き鶯色なり、こは比較的近年の流行にして、需用至て多し時としてはバルカン・ローズ (*Balkan rose*) を稱せられ、バルカン半島より産出せり

Goyavier **ゴヤジエ** **安石榴樹**

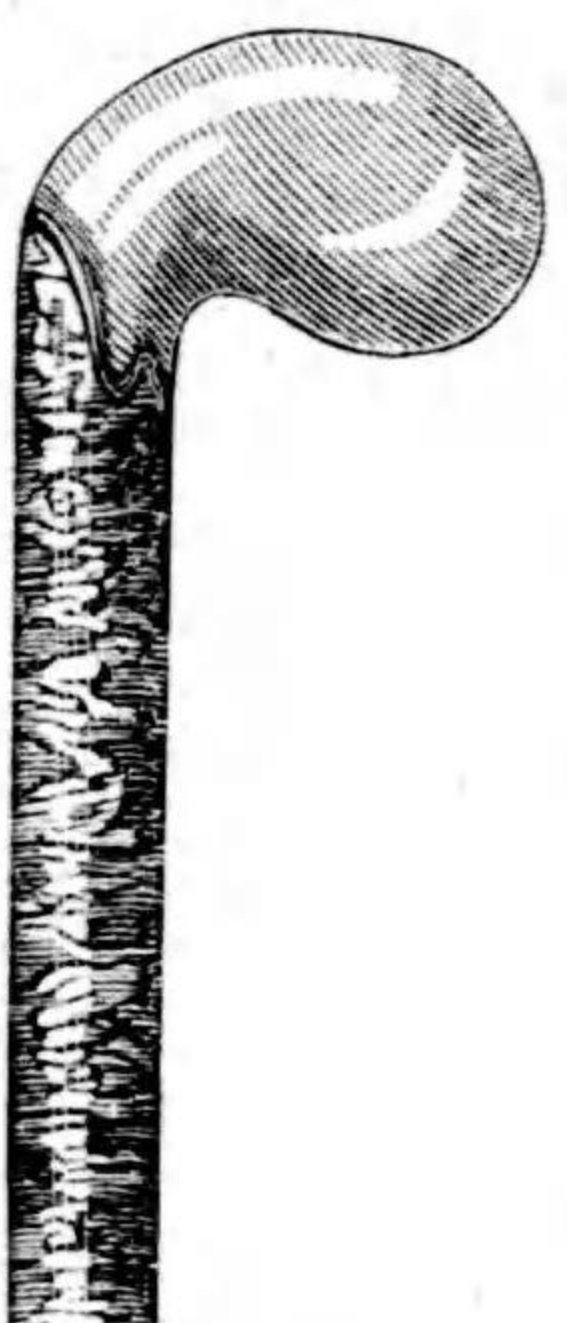
ゴヤビエは佛國産の柘榴樹にして、外皮を剥ぎ取れば小枝の跡美術的に現はれ根元は自然に丸味を持ちたるが故に之を磨きて日傘及雨傘の柄とし自然物の趣味深きものなり

Hazel **ハゼル** (*Corylus Avelana* **榛**) (樺木科)

是は有名なるものにして、極めて近年チーキング・ステツキ及雨傘の柄として非常に需用

増加し甚有要なるものとなり、銀色の上皮を有するハゼルとして知られたる種類のもは殊に美麗なり歐洲大陸の所々より産出す

第八圖



(第八圖は銀色のハゼルノツブ付洋杖)

Hickory **ヒッコリー** **胡桃** (胡桃科)

英米兩國に於て普通向質素なる洋杖に多く製作せらる

Himuro **ヒムロ** **檜柏** (*Chamaecyparis squarrosa*) (松柏科)

此木の枝は雨傘の柄に多重製せられ、重に着色又粗雜なる彫刻を爲して木地其物は別段賞美すべき特性あらず

Hinoki **ヒノキ** **扁柏** (*Chamaecyparis obtusa*) (松柏科)

此木の枝も雨傘の柄に多く作らる前記と同様の製作方にして洋杖には適當ならず

Holly **ホリー** (*Ilex aquifolium* **西洋ヒ、ラギ**) (冬青科)

こは有名なる灌木にしてチーキング・ステツキ及鞭の柄として用ひられ、其他種々のものにも用ひらる、英國産なり

Hornbeam ホーンビーム (*Carpinus Betulus* シデの類) (樺木科)
有名なる硬質の木にして、極めて鮮なる色を有し、堅牢なる洋杖を作るに適す、市場にありては重に英國産のもの取引せらる

Ichiku イチク 葦竹 (竹科)
葦竹は重に紀州邊にて産するものにして、葦の太きものに似たるものは白色にして美し、チーキング・ステツキとして近來多數製作せらる

Isu イス 蚊母樹 (*Distylium racemosum*) (萬作科)
九州地方に産する樹木にして木質堅く濃褐色を帯ぶ、チーキング・ステツキ及傘柄を作る時は美麗なれども堅きが故に曲げものとする時は損所出来版木地にて用ゆる時は柄の部分割れ易き難あり

Jambe ジャンビー 別名 Jambeze
こは棕櫚より作られたるもの、如くなれども明かならず

Jitchiku ジッチク (*Phyllostachys matricaria*) 別名松島竹(竹科)
松島竹此竹は節高く身厚く稀には全く穴の貫かざる物あり、斯くの如く身の厚きものは

千本に一本と云ふ様なものにして價も高價なり、松島の杖として有名なれども多量の産出なきが如し

Kanamoto カナモト 別名 コメモメ
此木の枝或は若木を用ひて雨傘及日傘の柄を作る、木質堅けれども一種の色ありて、着色自由ならず

Kanazuru カナヅル (別名なるか植物名鑑、名彙共に此名見えず)
カナヅルは多く日光に産しチーキング・ステツキに作られたるは同所參詣者の土産物として世人に知らる處なれども、差程雅致あるものに非らず

Keyaki ケヤキ 榲 (*Zelkova acuminata*) (榆科)
此樹の板木地を用ひてチーキング・ステツキを作れども、家具等に用ゆる程木目引立たず

Kumayanagi クマヤナギ (鼠李科)
此木の枝を用ひて雨傘の柄を作れり

Kuwa クワ 桑 (*Morus alba*) (桑科)
桑の種類多ければ何れの種類なるや判然せざれどもシマ桑、トウ桑類の板木地を用ひてチーキング・ステツキを作れるもの多し、木地堅くして黄色を帯べり

Lancewood ランセウード (*Duguetia quitarensis*) 名鑑、字彙共に此

譯名見ぬす

ランセウードはゴイアナ及キューバ等に産する樹木にして弾性ありて強固なる爲め車の柄
鞭の柄鈎竿の先頭の繼目等に多く使用せられ洋杖及雨傘の柄にも稀に用ひらる

Loya Canes **ロヤケーン** (棕櫚科) 1 *Calamus australis* 2 *Rattan*

こは濠洲産の棕櫚の莖なり、此莖は時として籐の如き外見あり而してロヤケーンミラ
ツタンとは植物學上同一科に屬するものなり

Magnolier 佛名 **マゲノリエー** 木蘭(木蘭科)

佛國産の木蘭の枝を用ひたるノツプ付の傘柄として最も雅致あるものなり

Mahogany **マホガニー** (楝科)

桃花心木と稱し南米に産す、蚊母樹より木質少しく柔かなれども色は蚊母樹に似たる褐
色にしてチーキングステツキを作りて上品のものなり

Malacca **マラツカ** (*Calamus scipionum* 藤の類) (棕櫚科)

攆生棕櫚にしてマラツカよりも却てスマタラの對岸にあるシヤクより輸出せらるチーキ
ングステツキとして最良のものにして市場に在りて價格も亦高し

第九圖



(第九圖はマラツカ洋杖に
銀の裝飾あるものなり)

Manryo **マンリヤウ** 硃砂根

紫金牛科

臺灣の嘉義、南投地方より産出せるものを用ひて洋杖及傘柄を作れりマンリヤウは臺灣
に種類多ければ植物學上の名稱は明ならず

Maple **マプル** (*Acer campestre* カケデの類) (槭樹科)

是は英國に産する樹木の枝にして、時々チーキングステツキとして使用せられ又米國に
産する同種類の木即ち *Bird's eye maple* (*Acer saccharinum*) も亦同様に使用せらる一日
本の槭樹にも種類多ければ何種なるや不明なれども、板木地を用ひてチーキングステツ
キを作りたるものは木目密に色白くして、美はしく至極上品なり、稀には斑の入りたる
もあり枝或は若木を用ひて作りたるものは未だ出來ず

Medlar **メイラー** (*Pyrus germanica* 西洋クワリン) (薔薇科)

此植物より作りたる棒は佛國にて産し中に往々横に深き切痕を數多附したるものあるは
裝飾の目的にて特に生長の間に幹に施されたるものなり

Midgen **ミンジハ** (棕櫚科) * *Kentia monostachya*

濠洲産の棕櫚の莖なり、非常に密生したる葉の落痕頗る美麗なる外觀をすなものなり

Miyume **ミルメ** 海松

黒色にして能く磨く程光澤を生し漆を塗りたるが如く美しき洋杖となし又は傘柄となす

と雖も好き品は少し

Mountain Ash マウンテン・アッシュ (薔薇科) 1 *Pyrus Avenuparia*
 英國にて普通に繁茂する美しき林檎の一種にして細けれども強硬なるものなり

Mountain Bay マンチー・ベイ (棕櫚科)

こは細き棕櫚の類にして植物學上の根原明ならず

Myall wood マイアル・ウッド (*Acacia homalophylla*) (荳科)

濠州産の合歡ネムノキの類にしてスミレに似たる香氣あるを以て名高し近頃パイプに多く製作せらる、チーキング・ステツキとして其香氣を保存せしむるが爲に磨かぬ儘に用ひらる

Myrtle マートル (*Myrtus communis*) (桃金娘科)

マートル樹を以て作らる、ものなれども時としては疑はしきものもあり、チーキング・ステツキ及傘の柄として最も優美なるものにしてアルゼリヤの産なり

Nana Canes ナ・ケーン (竹科) 1 *Arundo donax*

此名稱はヨシダケの類の中空なる蘆リウに似たる莖に附せられたるものにして其根莖は雨傘及び日傘の柄として上等なるものなり同じくアルゼリヤにて産す

Nezumi-mochi ネヅミモチ 女貞 (*Ligustrum Japonicum*) (木犀科)

枝を雨傘及び日傘の柄を作るに用ゆ此木は白色にして柔き故に彫刻を加へ或は着色をなすに適當なり

Oak オーク (*Quercus Robur* 櫟の類) (穀斗科)

普通英國産にして若木及枝は洋杖に用ひられ至て有名なり又ブラツル産のオークと稱するものは、植物學上の根原は不明に屬し、此植物にて洋杖の材料を作るには培養中に全體に亘りて捨りて丈けを縮め特に瘤に近き部分を太くす、斯の如く仕付られたるものが近年甚だ廣く供給せられ市場に注目せらる、に至れり又時としてはセーロン蔓サインとしても世に知られバヒアより輸出せらる

Olive オレイフ阿列布 (*Olea europaea*) 阿利襪樹 (木犀科)

此樹は阿列布油の名によりて有名なり濃綠色の上皮は其の特性たり、上皮を剥取る時は木地に斑點ありて雅味ありこの材料はアルゼリヤより輸出せり

Orange オレンジ (*Citrus aurantium*) * (芸香科)

此棒はアルゼリヤ産のものにして、普通の香橙オレンジとは異なりて、其木皮を能く磨く時は光澤ある綠色の中に白き線あり頗る美麗なる洋杖となりて一般に嗜好せらる

Orange Black オレンジ・ブラック (荳科) * *Cytisus scoparius*

此洋杖は香橙樹にて作りしものに非らずして* 金雀花エニシダの類にて作れるものにして木皮淺

分が香橙樹に似寄り色合黒色を帯びたるを以て此名あり、アルゼリヤより輸出す
Palmyra **バルミィラ** (棕櫚科) * *Borassus flabelliformis*
 此洋杖は印度産のバルミィラ・パルムの木の中身を切取りて作るものにして、普く世人に知られたるものは赤、黒の二種あり赤の方には赤き筋あり、黒の方には黒き筋あり共に印度より盛に輸出せらる

Partridge Canes **パートリツヂ・ケーン**

此莖の内には種々の名稱附せられ、皮の儘なるも剥きたるもあり、日傘及雨傘の柄チーキング・ステツキ等に多量に使用せられ、有名なる材料なれども植物學上の種屬明かならず、捻たる或は縮らせたる手元等は最も廣く行はる、ものにして、材料は支那産なり、米國に於て盛んに製作せらる、パートリツヂ・ケーンは同名なれども其材料を異にしパートリツヂと云ふ鳥の色と同色にして細長き木目ある木材にて作りたるものを云ふ

第十圖



圖一十第



(第十圖英國製パートリツヂ・ケーンの一種) (第十一圖は米國製パートリツヂ・ケーン)

Partridge wood **パートリツヂ・ウード** (*Andira inermis*)

西印度の大木にして木質密にして堅きが故に之を丁寧に能く磨きて上等の雨傘の柄に用ひらる

Penang Lawyer **ペナン・ローヤー** (*Litsea caulifida*) (棕櫚科)

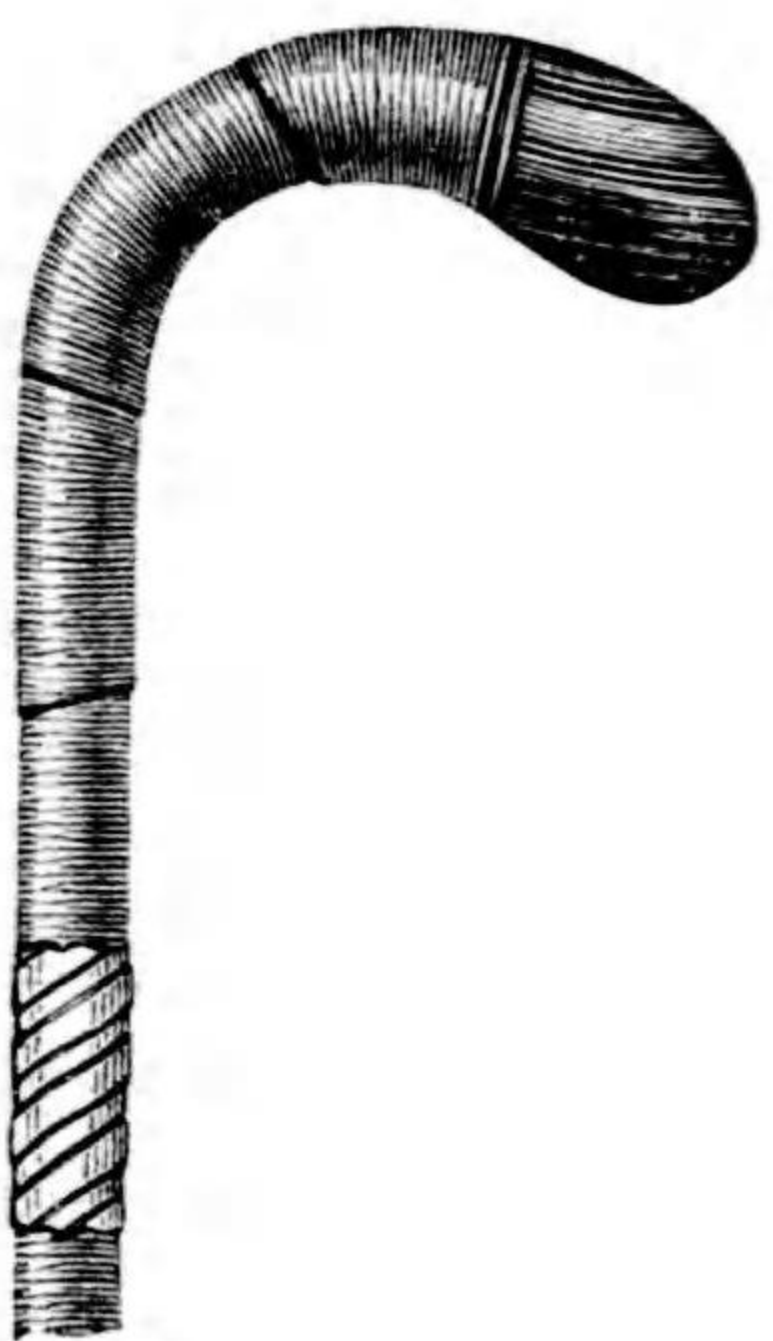
棕櫚の若木の根の變形にて作りしものにしてペナンより輸出す

Pigskin-covered Rattan **ピツダスキン** 猪皮附鱈皮

猪の皮にて藤を包みたるチーキング・ステツキなり、柄丈げを Crocodile (ワニ) の皮にて包みたるものもあり

Pimento **ピメント** (*Pimenta officinalis*) (安石榴科)

第二十圖



(第十二圖はピメントに
 黒檀の頭及銀帶飾附)

此木は普通にツヤマイカに生長し菓實(胡椒?)を採るが爲めに栽培せらる、木質非常に堅く且つ歪の出づること少きため洋杖及雨傘の柄を専らとして需用せられ西印度より輸出す

Pomegranate ホメグラナット (*Punica Granatum*) (安石榴) (安石榴科)
此植物の根皮薬用たるによりて名あり、傘の柄の材料はアルゼリヤに於て特に栽培をなせるものなり

Rajah Cane ラジャーケーン (棕櫚科) * *Eugenia*

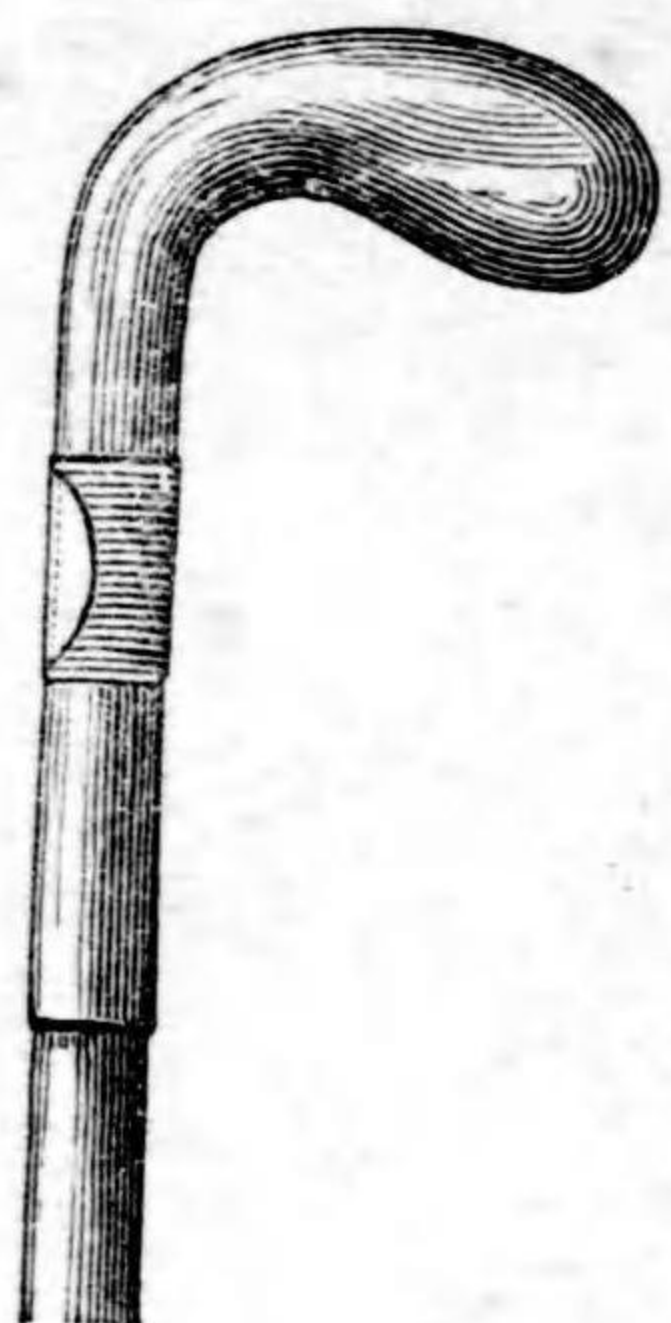
此有名なる洋杖はボルネオに於て産する棕櫚の一種にして植物學上の名稱明ならず、ボルネオのラジャーより輸出するが故に商品としての名稱となれり

Rattan ラツタン (*Calamus* 藤の類) (棕櫚科)

藤の類にして商品に種々の名稱あり Root rattan, White hard barkud rattans, Monster rattans, Miniature rattans 等の名稱あり、莖の性質は何れも同じ様にして落し又は倒したる時に損傷の疵付き易く且つ此疵口より漸次に輪環状の瘡痕となるの欠點あり、附言チャーキング・ケーンと言ふ語は *Calamus* の莖を cane と稱し、此莖を多くチャーキング・ステッキに使用せられたるより來れるものなりと云ふ、カラムスは印度及東洋諸國に繁殖する攀生植物にして木に絡まり上に登り又下りて長きものは五百呎に達し多くの葉に圍

はれて生長するものにして、カルカッタ産のものは上皮が滑かなるが印度産のものは光澤あり又 Yellow Rattan として黄色なるものもあり又 Bahama Rattan, Niger Rattan, Penang Rattan 等稱するものもあり是も同種類のものなるべし

第三十圖



(第十三圖はラツタンに角のノツプ銀飾附洋杖)

Sabita サビタ (*Hydrangea Puniculata*) (虎耳草科)

北海道産にしてパイプ及洋杖に製作するもの一時流行せしが今は餘り珍重せられず

Sawa-futagi サハフタギ (*Symplocos crataegoides*) (灰木科)

傘の棒を作るに用ゆ、白色にして木質柔く着色意の如くなれば上等のものとして使用せられ又枝より節へ掛けて鐘木形皮付の傘柄として用ひられるも曲げものとして未だ用ひられず

第十四圖



(第十四圖は灰木の傘柄)

Shakunage シヤクナゲ 石南 (*Rhododendron formosicum*) (石南科)

臺灣の高山に産する石南を以てチーキング・ステッキを製作れり。雖も未だ内地へ商品として移入せられたるものは扱はず

Sharks Backbone シャーク・バックボーン 鯨骨

鯨の背骨を以て作りしものなり

Shitan シタン 紫檀 (*Pterocarpus Santalinus*) (豆科)

紫檀は多く外國より輸入せられ質最も堅し、チーキング・ステッキを作るは重に棒のみに用ひて柄は水牛・金屬等を附けたるが最近に於て曲げ木のものも出來得るに至れり、又黒紫檀と稱するものあれども學名詳かならず

Shuro-chiku シュロチク 棕櫚竹 (棕櫚科)

雨傘日傘の棒及びチーキング・ステッキ用として多量に輸入せられ質素なるものより高尚なるものに至るまで總に使用せらる、は世人の知る處なり、歐米より輸入する棒及洋杖

に仕上げられたるものと日本へ輸入する材料とは原料の産地異なるか或は粗惡の原料を輸入せるが故にや、出來上りに於て手工上の外に木地良好ならざるの憾あり、上等棕櫚竹の棒は氣候の變化に際するも太くなる憂なし、棕櫚竹とパートリツヂ・ケーンとは植物學上同種類なるものはかれらされども今之を詳にするを得ず、臺灣南部に産し洋杖傘柄等に製作せらるものあれども之亦た其種屬を明にするを得ず

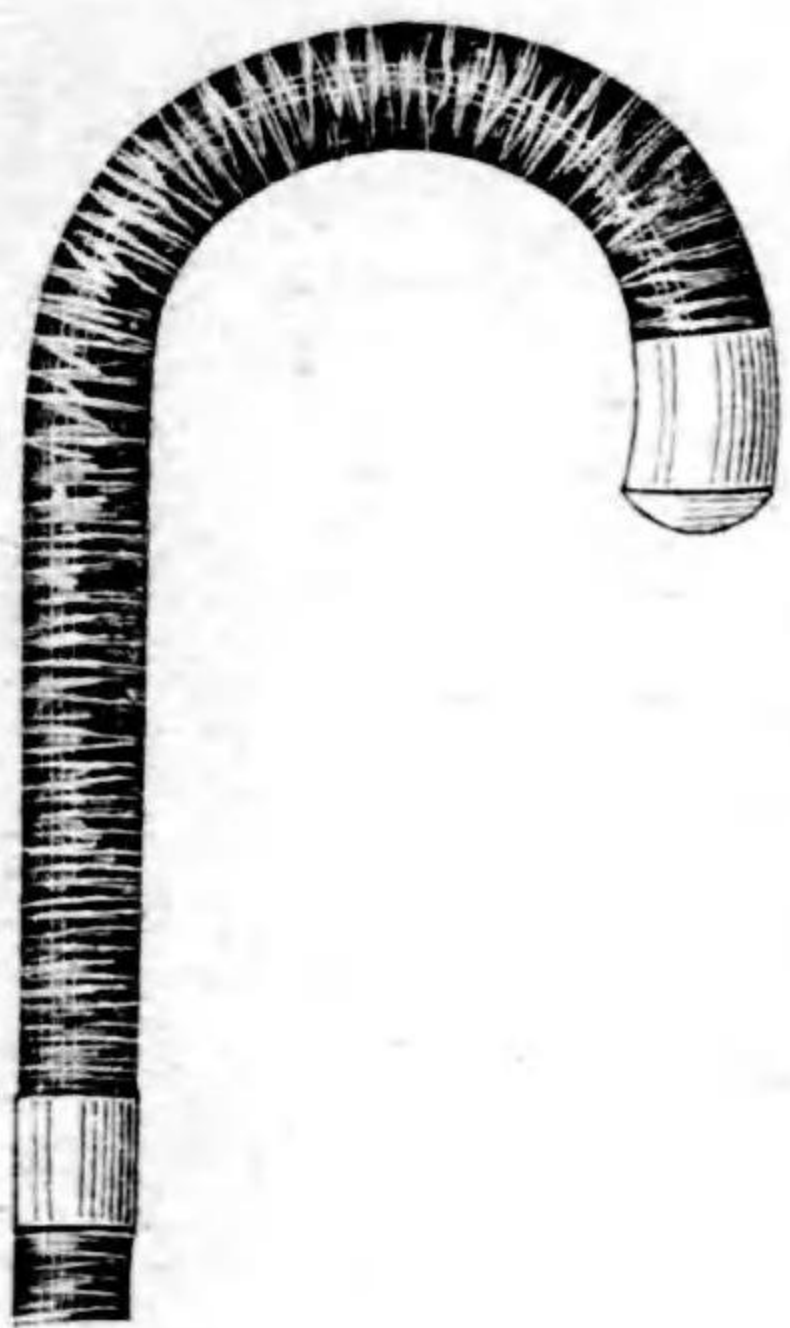
第十五圖



(第十五圖は棕櫚竹に銀頭附の洋杖)

Silverna wood シルバナウード

第十六圖



(第十六圖はシルバナウードに頭及帶飾附洋杖)

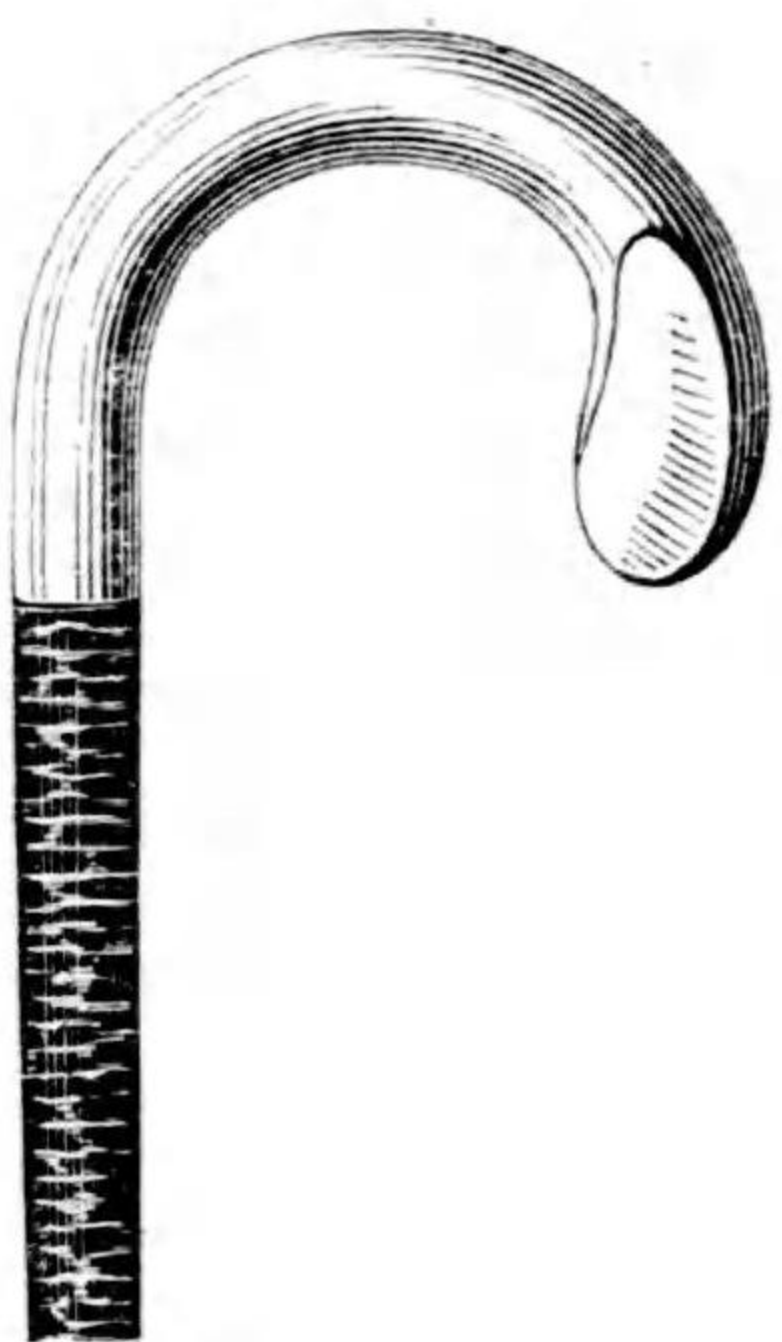
最近に於てシルバナ・ウッドと稱する洋杖英國に行はるゝものありアルゼンタイン産のシルバア・ウッド若くは印度のシルバア・ウインの類にても作りしものによ

Snakewood **スナケウッド** (*Brosimum Aubletii*) 別名 **Letter-wood**
Leopard-wood

此木は南ゴイアナ及ペーリユウ諸國に産する大木にして極めて堅く赤色を帯びたる褐色に黒き輪環状の木目ありて頗る美麗なればチーキング・ステッキとして非常に珍重せらる

第

圖



(第十七圖 はスナケ
ウッドに銀の柄付)

Spirée 佛名 **スピレー** (薔薇科)

佛國産シモツケ類の莖を洒して作りたるものにして根の形が自然柄に適當に生長せり日傘の薄色のものに用ひて上品なり

Taou-no-ki **タブノキ** (*Machilus Thunbergii*) (樟科)

板木地を用ひてチーキング・ステッキを作れり、櫂に似たる木目なれども少し木目密なり

Tagayasan **タガヤサン** 鐵樹 (*Clerodendron nutans*) (馬鞭草科)
熱帶地方に産しチーキング・ステッキの棒には時々用ひらる堅き木地なれども色鮮ならず、別に黒、紫の二種ありき稱すれども學名明かならず

Take **タケ** 竹 (竹科)

一般に竹と稱する中にも植物學上の種屬は種々あれば何れの種類が多く用ひるゝや明ならず、竹のチーキング・ステッキに適當なる事は今更喋々を要せず、日本の名産にして日本人よりも却て外國人に稱賛せらるゝもの、一なり殊に日本の特技たる彫刻を施したるもの、知きは最も鮮なる美術的のものにして高尚此上なきものなり又洋杖の内に釣竿を仕込たるあり是等も日本の特産物なり、傘柄として相當に用ひらるれども尙ほ適當に應用せらるゝの場合には一層需用廣まるべし、バンブー或はランイーの内に説明せられしものもあらんが是れば外國人の製作品なるが故に茲には日本製品のみを記す、尙ほ産の竹には洋杖に適當なるもの數多あるべしと雖も未だ製作をなしたること少なければ説明をなす能はず (口繪寫眞版第三圖參照)

Tamo **タモ**

(モクセイ
木犀科)

青ダモヤチダモ等何れも北海道の産なり、板木地を用ひて洋杖及傘柄及日傘の柄を作り、木質堅き方にはあらず輪環状の木目ありて美はし

Teleka Thorn テレカソルン

亞弗利加産の薊のある植物にて作りしものならん又 Russian thorn と稱するものもあり是も魯西亞産のものにて作りしならん

Thistle チストール (*Verbascum Thapsus* マウス甲ケワ **ヒロウド毛葎花**) (ヒナノウスツボ **玄參科**)

チストールは毛葎花の幹にて作りたるもの、名にして、細く軽く色鮮なれば甚美しく雨傘の柄として上品のものなり

FO タウ 籐

南洋諸島より時々粗製チーキングステッキを輸入す、之れは節の間長くして一本の洋杖に一節のものを普通とせざるも、京濱市場へ原料として輸入せら、ものは、節繁くして一本の洋杖に四五の節あり、産地に由りて異なるが種類異なるが故か詳かならず、臺灣全島より産出せる土籐、正籐なども用ひられつ、あるべし (口繪寫眞版第四圖参照)

Tochi-no-ki トチノキ (*Asculus turbinata*) トチノキ **七葉樹科**

板木地を用ひてチーキングステッキ及傘柄を作り、タモの木に似寄りたる木目あり

Touquin Canes トンキンケーン (竹科) * *Arundinaria*

支那に産する細くして節多き竹の一種なれども、植學上の名稱は判然せず、細く軽きが故に日傘の柄に多く用ひらる

Torsade 佛名 トルサデー

佛國産にして、木自然に螺^{ネジ}れて生長し恰も鈴を捻じたる如き形をなし、チーキングステッキ及雨傘柄として最も佳なるものなり

Tsubaki ツバキ椿 (*Thea Japonica*) (ツバキ **山茶科**)

椿の種類多し、板木地より洋杖及傘の柄を作り洋杖としては白木地に仕上げる時は頗る上品なり、傘柄は重に着色をなし又外國行の如きは漆塗なるが故に木質を見る能はず若木或は枝を用ひたるものは丈夫なり、嚴島名産の洋杖は幹を能く磨きて焼付を施したるもあり

Ushi-koroshi ウシコロシ (*Phloxia villosa*) (**薔薇科**)

洋杖及傘の柄を作り、木質堅し

Whale bone 鯨骨 附鶴足

鯨骨にて作りたるチーキングステッキあり白色にして美麗なれども品少なし、鯨の骨を組み作りたるもあり「鶴の足にて作りたるものは鶴の足を柄に用ゆるのみにして棒は木材を繼ぎしものなり

Whangee **ワナイー** (竹科) * *Phyllostachys nigra*

竹の一種の根莖にて作りたるものにして軟弱にして曲げ易く若幹に疵生すれば根莖の圍の根が枯落つるの性あり、莖の色は青色を帯たる黄色なり其黒き節の入たるは之をアラック・ワナイーと稱す(附記この學名より見る時は黒竹又は胡麻竹の類なればアチツク・ワナイーが主なるものにあらざるか)

第十八圖



(第十八圖) は普通のワナイーの洋杖

Whitethorn **ホワイトソーン** (薔薇科)

此木は別名をHawthorn (*Crataegus Oxyacantha* サンサン 山楡の類)と稱し、堅くして密なる木なればステツキとして至て強し

Yamanashi **ヤマナシ** 山梨 *Cornus Tschonoskii* (薔薇科)

山梨は木堅くして棒に適し時々チーキング・ステツキに作らるれども多く彫刻等を施して其木地を現さず、鈎形柄の洋杖にも作らるゝことあり

Yotsudo-zone **ヨツドゾメ** *Veburnum dilatatum* (忍冬科)

此木は東京近邊に多く産するものにして傘の棒に多く使用せらる

Ziracote **ジラクット**

木目緻密にして殆んど黒き木なり、重に家具に用ひられ光澤は好く美しき外見を帯ぶものにしてチーキング・ステツキにも使用せらる

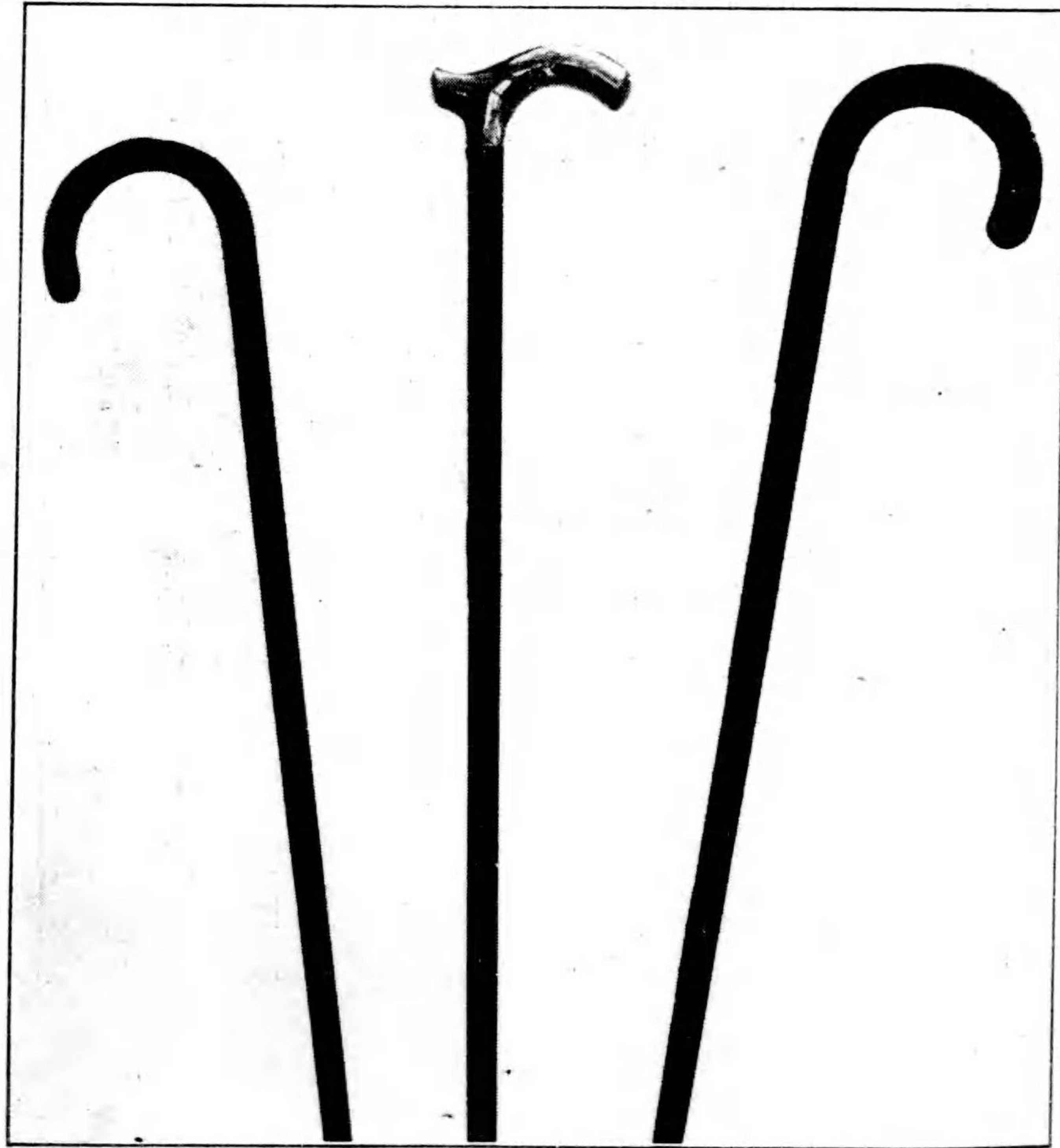
チーキング・ステッキ解説目録終

林屋營業案内

- 一、弊店儀開業以來日向淺きに拘らず店運益々繁榮に相赴き居候は之れ偏に大方各位の一方ならぬ御愛顧に由るものと深く感謝罷在候就ては此の御厚恩の萬一に報ゆるため爾今一層誠意勉勵可仕候に付何卒不相變多少共御用向仰付被下度候
- 一、洋杖及び洋傘類製作には最も苦心致居候に付日を追ふて愈々精巧のもの相調へ可申又顧客各位御考案によるもの、製作には特に深く意を用ひて貴需に應じ毫も御遺憾なからんことを期し居候
- 一、洋杖及び傘柄類は特に直接外國より輸入致居候に付従つて價格も極めて廉に供給可仕候
- 一、茲に記載の種類價格等は僅に概略を示したる迄に有之候て洋傘の如きは流行の變遷極りなきものに候へば其物品價格の變動も相生じ可申候

露光量違いの為重複撮影

第一圖 黒檀



一 二 三

三

一、洋杖及び洋傘の修繕は細大に不係最も勉強致し丁寧親切に取扱可申候
 二、市内は遠近に不係御通知次第直に參上御意御伺可申候得共地方より御注文
 の節は左記事項御認め之上前金御送附の程願上候

一 御婦人用は

御使用者の年齢
 御好みの切地色合或は模様、柄の形（片鐘木^{フロック}、鉤形玉付等）
 價格の御指定

一 紳士用は

寸方何吋柄の形（片鐘木、鐘木、鉤形、瘤付^{ノック}、等）
 切地^{ワス}、絲織、綾織、琥珀織等）
 價格の御指定

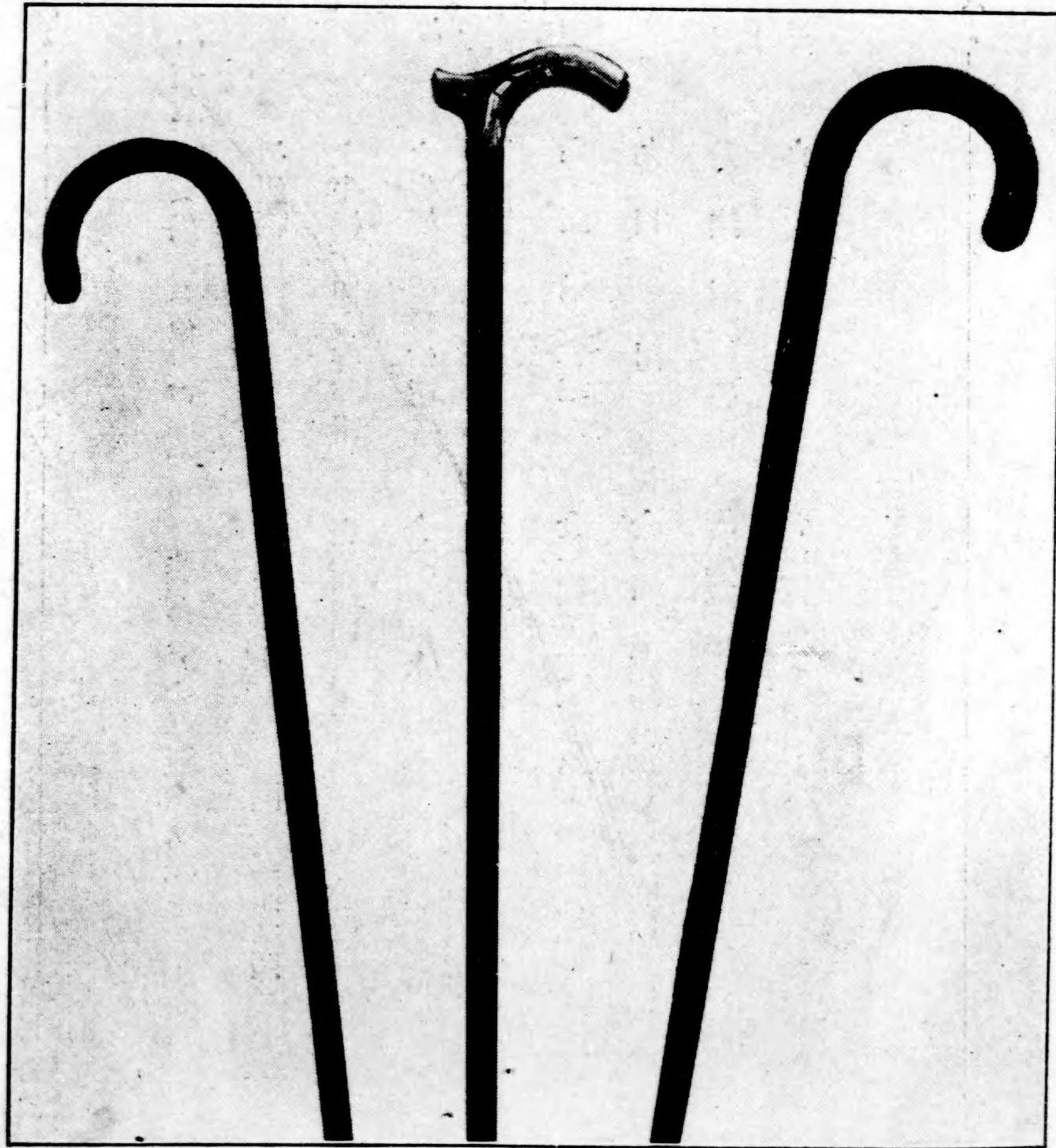
小包郵便料及荷造費として金三拾錢御添へ可被下候

若し小包郵便料御送附無之時は御指定價格の中にて差引可申候



二

第一圖 黒檀



三

二

一

三

一、洋杖及び洋傘の修繕は細大に不係最も勉強致し丁寧親切に取扱可申候
 一、市内は遠近に不係御通知次第直に參上御意御伺可申候得共地方より御注文
 の節は左記事項御認め之上前金御送附の程願上候

一御婦人用は

〔御使用者の年齢
 御好みの切地色合或は模様、柄の形（片鐘木^{フーケス}鈎形玉付等）
 價格の御指定〕

一紳士用は

〔寸方何吋柄の形（片鐘木、鐘木、鈎形、瘤付^{ノッテ}、等）
 切地五斯絲織、綾織類、琥珀織等）
 價格の御指定〕

小包郵便料及荷造費として金三拾錢御添へ可被下候

若し小包郵便料御送附無之時は御指定價格の中にて差引可申候



二

竹 圖 二 第



四 三 二 一

Ebony.

黑檀

(錫倫其他東亞弗利加の特産にして世界の名木)

純銀柄附

金拾圓以上(第一圖第二號參照)

水牛柄十四金帶飾附

金拾五圓以上

水牛柄純銀帶飾附

金八圓以上

彫刻附

金四圓以上

角鈎柄無地

金一圓五十錢以上(第一圖第一號參照)

丸同

金一圓五十錢以上(第一圖第三號參照)

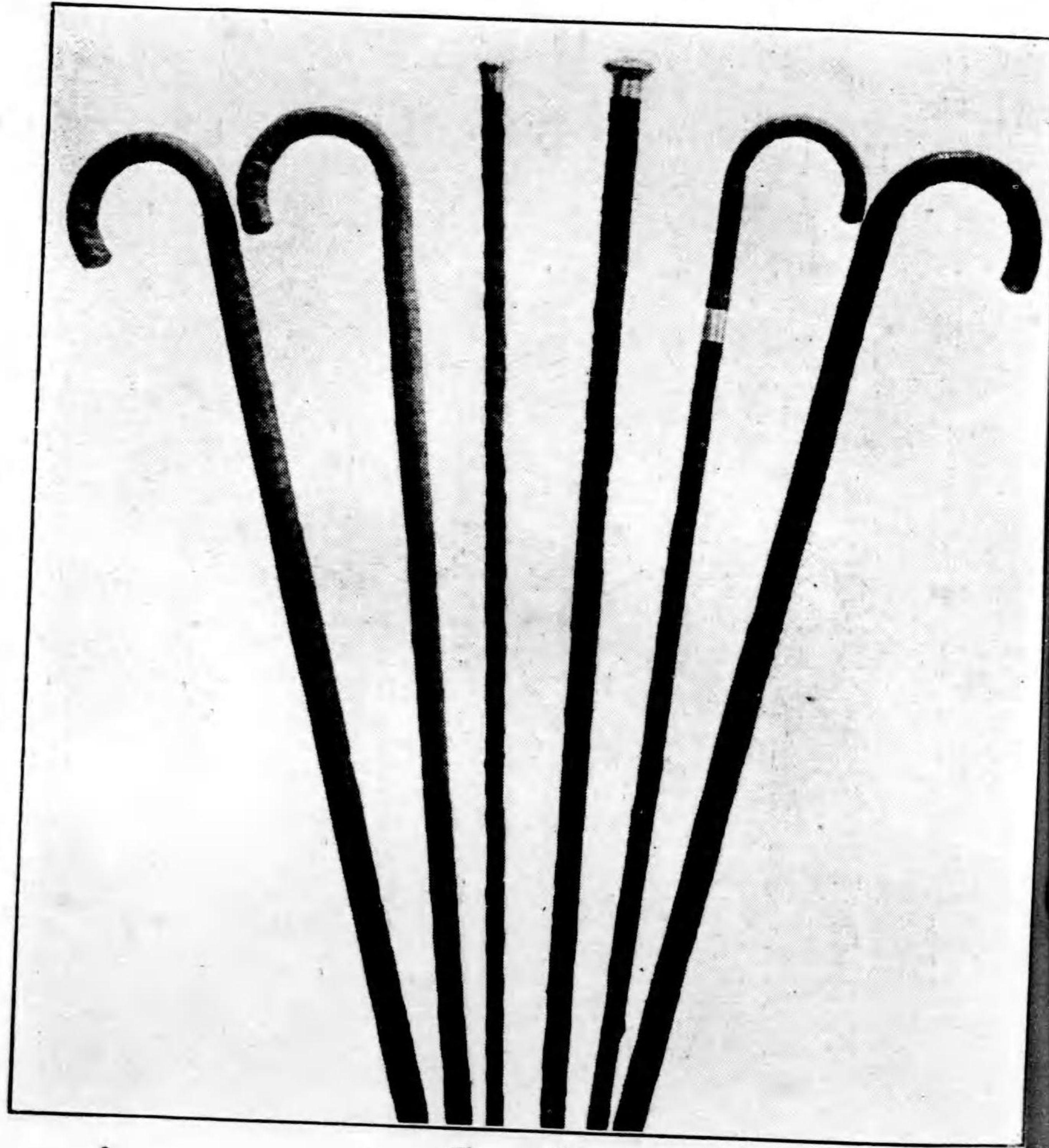
角鈎形柄純銀帶飾附

金參圓以上

丸同

金參圓以上

第三圖 ヨゴ



一 二 三 四 五 六

七

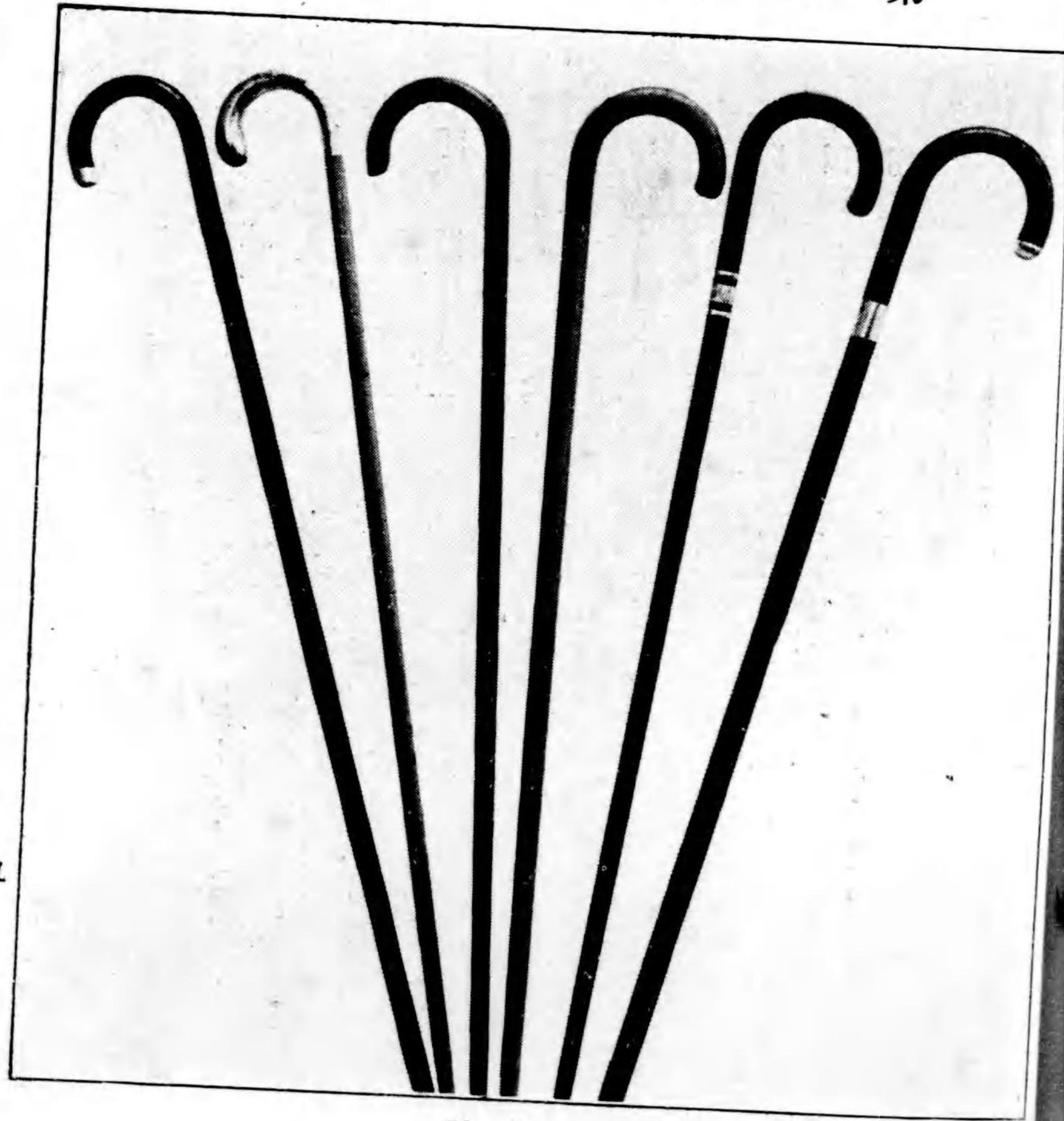
Bamboo.

竹 (日本及支那の名産)

- | | |
|----------|-------------------|
| 彫刻附 上等 | 金五圓以上 (第二圖第三號參照) |
| 同 中等 | 金參圓以上 (第二圖第二號參照) |
| 同 並 | 金壹圓以上 (第二圖第四號參照) |
| 無地物 | 金五十錢以上 (第二圖第一號參照) |
| 無地物純銀帶飾附 | 金壹圓五十錢以上 |
| カンチク無地 | 金壹圓以上 |
| 同 純銀帶飾附 | 金二圓以上 |

六

第 四 圖 籐



一 二 三 四 五

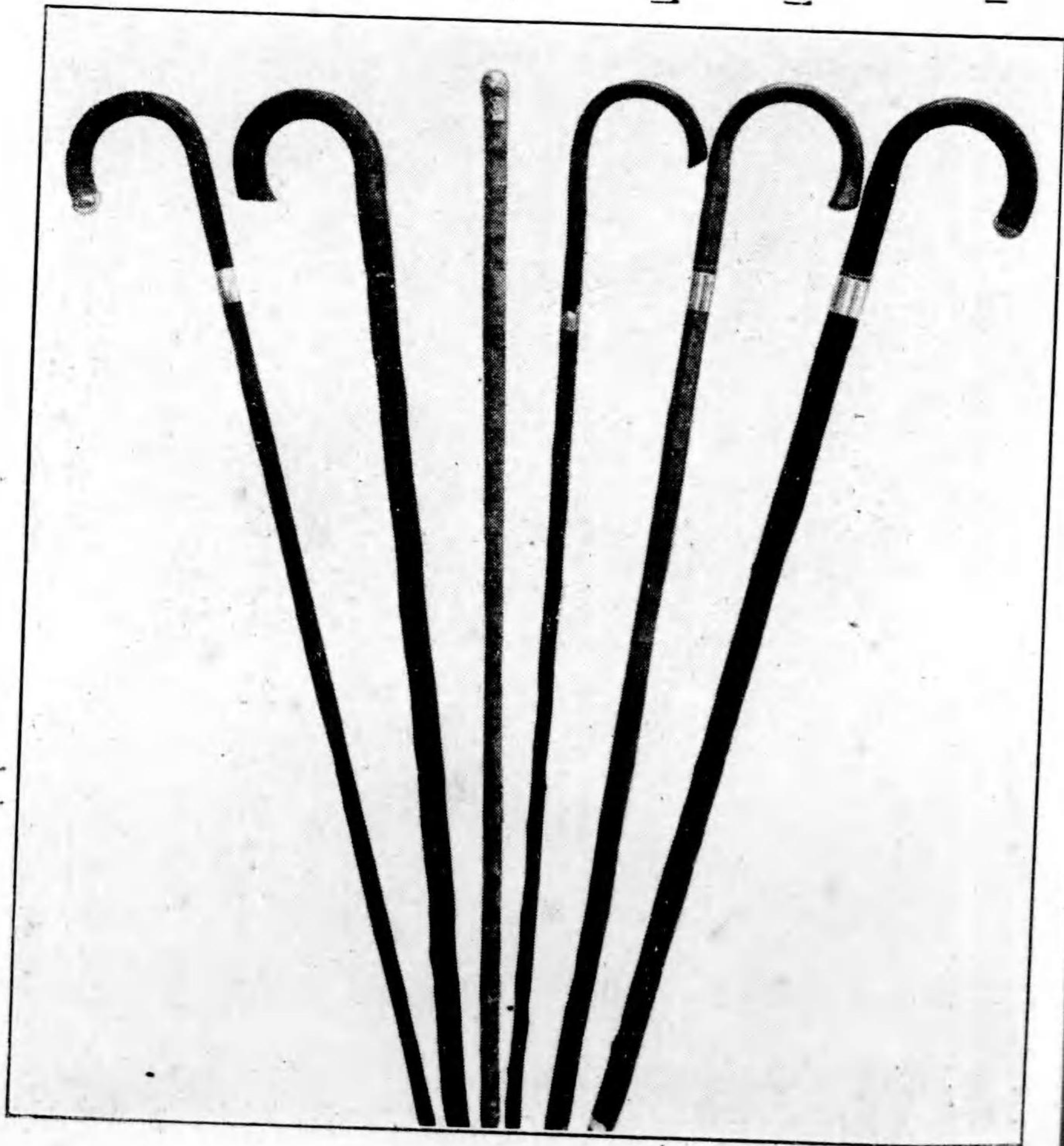
Congo

カンゴ (佛國名産自然木)

- 上等木地純銀帶飾附太物(直徑約九分) 金三圓五十錢
- 同 同 頭飾附同 金三圓七十五錢
- 同 同 帶及頭飾附同 金四圓二十錢
- 同 無地 同 金二圓六十錢 第三圖第六號參照)
- 同 純銀帶飾附細物(直徑約六分) 金二圓五十錢
- 同 純銀帶及頭飾附同 金三圓五十錢
- 同 同 頭飾附同 金三圓
- 同 無地 金一圓二十錢
- 並木地 無地 金八十錢
- 上等木地真直純銀頭飾附 ストライン 金二圓五十錢(第三圖第三號參照)
- 同 同 細物 金二圓 (第三圖第四號參照)

櫻 圖 五 第

六 五 四 三 二 一



Rattan.

籐

(印度及東洋諸島の名産)

- | | | |
|---|------------------------------|---------------------|
| 同 | 無地物 | 金六十錢より一圓八十錢迄 |
| 同 | 同帶及頭飾附 | 金一圓五十錢以上 |
| 同 | 同頭飾附 | 金一圓二十錢以上 |
| 同 | 燒付色純銀帶飾附 | 金一圓以上 |
| 同 | 同無地物 | 金一圓二十錢以上 |
| 同 | 同指金形手元純銀帶附 | 金二圓五十錢以上 |
| 同 | 同無地物 | 金八拾錢より二圓迄(第四圖第三號參照) |
| 同 | 同頭飾附 | 金二圓五十錢以上(第四圖第六號參照) |
| 同 | 同帶飾附 | 金二圓二十錢以上(第四圖第二號參照) |
| 同 | 同純銀頭及帶飾附 | 金二圓八十錢以上(第四圖第一號參照) |
| 同 | 白籐 純銀 柄附 <small>ハシドル</small> | 金八圓以上 (第四圖第五號參照) |

櫻 (埃國產香櫻及虎斑櫻、佛國產野生櫻)

香	上等木地純銀頭及帶飾附	金三圓五十錢 (第五圖第六號參照)
同	同 頭飾附	金三圓
同	同 帶飾附	金二圓八十錢
同	同 無地	金二圓 (第五圖第五號參照)
同	中等木地純銀頭及帶飾附	金二圓五十錢
同	同 頭飾附	金二圓
同	同 帶飾附	金一圓八十錢 (第五圖第三號參照)
同	同 無地	金一圓五十錢
同	並木地	金五十錢以上
野生純銀帶飾附太物		金二圓 (第五圖第一號參照)
虎斑真直純銀頭飾附		金一圓 (第五圖第四號參照)
同 同 洋銀飾附		金一圓

Cherry.

アドレレー (佛國名産自然木コンゴ一の一種)

上等木地純銀帶飾付太物	金三圓五十錢
同 純銀帶及頭飾付太物	金四圓貳拾錢
同 純銀頭飾付太物	金參圓八拾錢
同 無地 太物	金貳圓五拾錢 (第三圖第一號參照)
並木地 無地	金八拾錢

バヒヤドー (佛國名産自然物コンゴ一の一種)

上等木地純銀帶飾付太物	金參圓五十錢
同 頭飾付同	金三圓八拾錢
同 帶及頭飾付同	金四圓貳拾錢
同 無地	金貳圓六拾錢 (第三圖第五號參照)
同 純銀帶飾付細物	金壹圓八拾錢 (第三圖第二號參照)
同 頭飾付同	金貳圓五拾錢
同 帶及頭飾付	金參圓

Bahidos.

同 同 同 同 同 同	同 同 同 同 同 同
-------------	-------------

櫻 (埃國產香櫻及虎斑櫻、佛國產野生櫻)

香	上等木地純銀頭及帶飾附	金三圓五十錢 (第五圖第六號參照)
同	同 頭飾附	金三圓
同	同 帶飾附	金二圓八十錢
同	同 無地	金二圓 (第五圖第五號參照)
同	中等木地純銀頭及帶飾附	金二圓五十錢
同	同 頭飾附	金二圓
同	同 帶飾附	金一圓八十錢 (第五圖第三號參照)
同	同 無地	金一圓五十錢
同	並木地	金五十錢以上
野生純銀帶飾附太物		金二圓 (第五圖第一號參照)
虎斑真直純銀頭飾附		金一圓 (第五圖第四號參照)
同 同 洋銀飾附		金一圓

Cherry.

アドレレー (佛國名產自然木コンゴの一種)

上等木地純銀帶飾付太物	金三圓五十錢
同 純銀帶及頭飾付太物	金四圓貳拾錢
同 純銀頭飾付太物	金參圓八拾錢
同 無地 太物	金貳圓五拾錢 (第三圖第一號參照)
同 並木地 無地	金八拾錢

バヒヤド (佛國名產自然物コンゴの一種)

上等木地純銀帶飾付太物	金參圓五拾錢
同 頭飾付同	金三圓八拾錢
同 帶及頭飾付同	金四圓貳拾錢
同 無地	金貳圓六拾錢 (第三圖第五號參照)
同 純銀帶飾付細物	金壹圓八拾錢 (第三圖第二號參照)
同 頭飾付同	金貳圓五拾錢
同 帶及頭飾付	金參圓

Bahidos.

同 無地
並木地無地

金壹圓廿錢
金八拾錢

マホガニー (南米に産する名木)

釣形柄彫刻節付純銀唐草模様透し彫刻節附
同 純銀頭及帶飾附
同 同頭飾附
同 同帶飾附
同 十八金頭飾附模様彫刻
同 無地

金參圓五拾錢以上
金參圓以上
金貳圓七拾錢以上
金貳圓五拾錢以上
金拾四圓以上
金壹圓五拾錢以上

棕櫚竹 (支那の特産)

最上物純銀頭及帶飾附
同 同頭飾附
同 同帶飾附

金四圓以上
金參圓五拾錢以上
金參圓參拾錢以上

上等物純銀頭及帶飾附
同 同頭飾附
同 同帶飾附
並物 同飾附
最上無地物
上物 同
並物 同

金參圓以上
金貳圓八拾錢以上
金貳圓五拾錢以上
金壹圓以上
金參圓以上
金壹圓以上
金卅錢以上

自然木スツキ (内地産)

山梨、齋墩果、フジキ、灰木、櫻等
純銀飾附
無地物

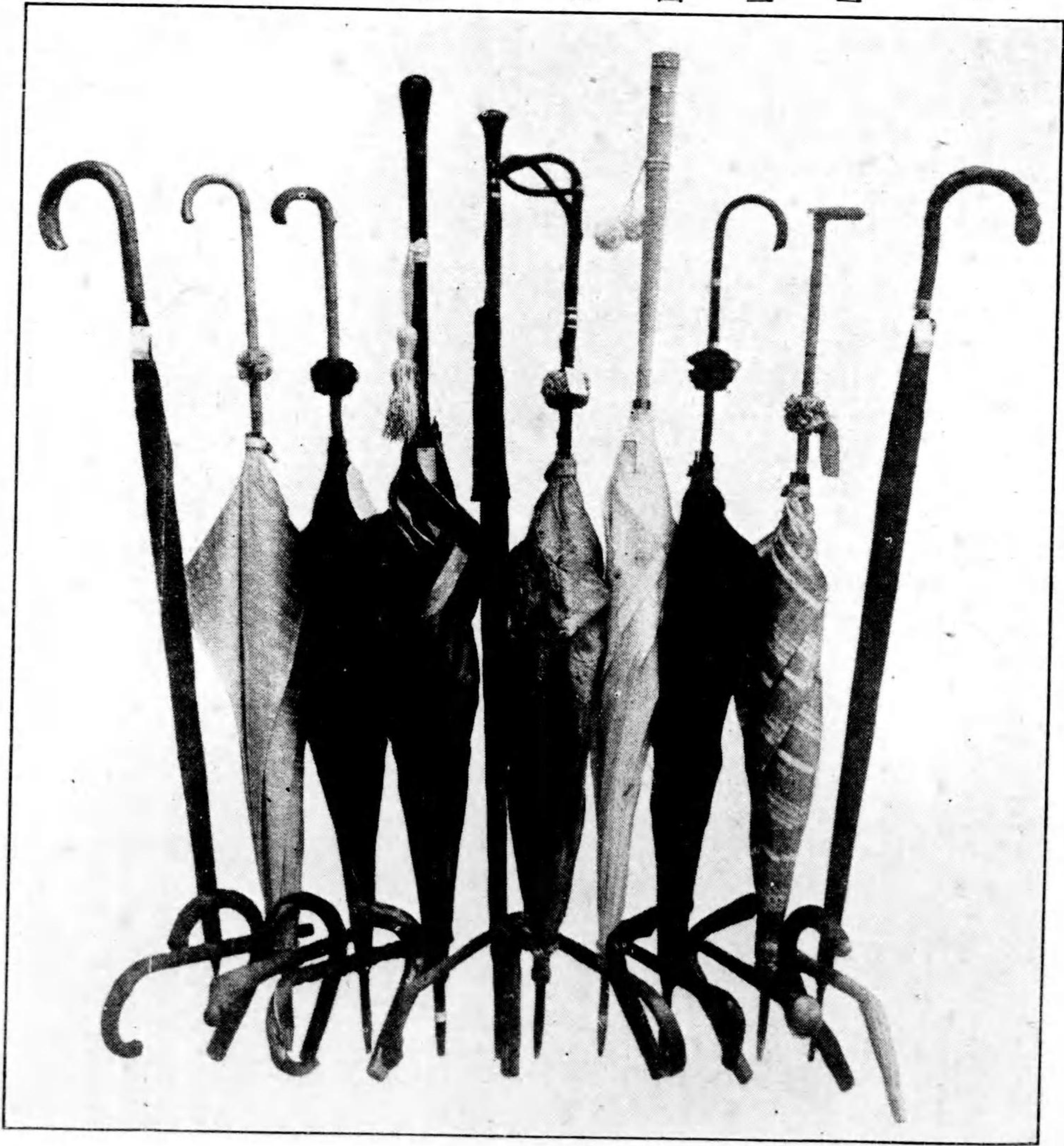
金壹圓五拾錢以上
拾五錢以上

堅木板木地物

紅葉、椿、桑、夕毛、外子、椴、紫、檜
上等木地色仕上三角形、扁平形及び丸形釣形曲純銀頭及帶飾附 金貳圓五拾錢以上
同 同頭飾附
同 同頭飾附
金貳圓參拾錢以上

椴、紫、檜

第十 九 八 七 六 五 四 三 二 一 圖 六 第



同 同 同 同 同 同 同 同 同 同
 同着色物アレー、ブラウン等
 同無地物
 同帶飾附
 金貳圓以上
 金貳圓以上
 金八拾錢以上
 金貳圓

アッシン (英國の特産)

ルーツアッシン(根付)純銀頭飾附
 金貳圓五拾錢以上
 金貳圓以上

右の外金銀の飾象牙水牛の柄等^{ハンドル}ステッキ一切の裝飾製造仕居候
 に付御考案等御示し下され候節は勿論材料に適當の意匠を施し
 御用相達可申候

シヨール 襟巻類

最新流行品相揃置き大勉強販賣致候

最新流行洋傘

◎貴婦人用日傘(琥珀織)

サイズ
寸方二十吋 廿一吋 及 廿二吋
金參圓五拾錢以上
拾貳圓位
握純銀、象牙、水牛、自然木、棕梠竹銀付、
其他舶來手元種々

當今上流社會に歡迎さるゝ色合は裏葉色、濃鼠、淡鼠、濃紺、鶯茶、濃青、濃茶、クリーム、水色、純白、空色、淺黄、などの無地もの、特に令婦人用として、裏葉色水色、綠柱玉色、ライド・ブラツシ等最も高尚にて需要多し

◎貴婦人用日傘(刺繡物)

第八、九號參照 寸方二十吋 廿一吋 及 廿二吋
金四圓以上十五圓

色合は前記と同様にして刺縫糸抜等を附せしものなれば無地物よりは一體に華美にして令婦人令嬢方には缺く可からざる必要品なり

◎御婦人用細卷

寸方二十二吋以上二十五吋
金五圓以上種々

右の中二十二吋は日傘他は御婦人用雨傘にして外國人の持ち物なり、但し當今漸次貴婦人間に旅行用として黒色流行の勢を示せり

◎貴婦人用絹紬縫取模様付第六圖 寸方二十一吋 價金五圓以上金七圓迄

◎貴婦人用舶來傘第六圖 寸方二十二吋 金七圓以上九圓迄

◎甲斐絹張御婦人用 寸方二十一吋八間 金貳圓以上四圓五十錢迄
淺黃、紺、濃鼠、濃茶、黒無地及縁模様、柄は琥珀織と同様種々あり

一般の御婦人用として實用に適したる優美なるものなり

◎六七才位な令嬢用(舶來形ビラ付) 繻子張金六十錢より更紗張金三十錢より
甲斐絹張金一圓卅錢より

優美にして色合華美なるもの數種あり

◎十二三才位の令嬢用甲斐絹張 寸方十八吋至二十吋 金一圓三十錢以上二圓五十錢
第六圖第二、三號參照

◎御婦人向實用傘 寸方二十二吋 金一圓より

瓦斯絲織張で一吋絹まがひの實用品にして經濟向なり

◎紳士用ステッキ傘 金五圓以上拾五圓迄
(一見殆ど洋杖さしが思へず)

旅行用として輕便此上なし目下青年紳士間に流行盛なり

◎小學校子供衆用學校傘 寸方廿三吋以上 二十六吋

二十四吋棕栢竹柄金一圓二十錢
同 木柄金一圓四十錢
他は一吋に十錢増

八才以上十四才位の學生諸君の常用品として經濟向なり

◎男子持常用傘(瓦斯糸織)

廿六吋 金一圓五十錢以上二圓
廿七吋 金一圓七拾錢以上二圓廿錢
廿八吋 金二圓以上三圓五十錢
卅吋 金三圓以上三圓八十錢

柄 棕栢竹、木柄、水牛、

晴雨兼用として普通番傘(紙製)拾本以上保つ事請合の實用品、會社銀行大商店の常用として經濟向なり

◎男持瓦斯糸織細卷第六圖 寸方二十六吋 普通金二圓 革袋入
第一號參照 寸方二十七吋 同 金二圓五十錢 同
寸方二十六吋 上等金二圓五十錢 同
寸方二十七吋 同 金二圓八十錢より

此細卷は實用向輕便にして體裁よき爲めに目下流行盛なり

◎同 バテン瓦斯糸織 寸方廿四吋、廿五吋 金一圓より一圓卅錢迄

◎紳士用細巻洋傘

寸方二十六吋
二十七吋

黒子持メートル絹金五圓以上拾圓
濃青メートル同金五圓以上拾圓
琥珀 金六圓五十錢以上十二圓
綾甲斐絹 金四圓以上六圓

目下の流行十中の八九までは黒色、握は舶來コンゴ、同チエリー、同アツシ、籐、棕櫚竹、ドルサデー、水牛其他十數種、是は舶來の洋杖傘程高價でなく耐久力も舶來品と些の相違なく一般紳士の携帶品として必要缺く可からざる實用品なり
切地四種の中最も黒子持メートル高尚にして經濟向なり（張替は三圓五十錢位にて御注文の日より三日以内に御調製申上候

◎舶來細糸琥珀織男子用傘

第六圖 寸方廿六吋廿七吋七間
第十號參照 金二圓五十錢より

右は普通の瓦斯糸織よりは切地薄く順つて軽くして細く出來ものなるが故に日傘用として最も輕便なり

◎白麻 拔糸及刺繡物 金貳圓以上

右は瀟洒にして美はしく貴婦人用日傘として最近の流行品なり

チャーキング・ステッキに就きて

▲杖と洋杖の應用

一、洋杖は歐米各國にては紳士用、令嬢用、兒童用、老人用等各人の體格に應じ輕重長短を計りて之に適當なる材料を精撰し相當の裝飾を施して一般國民の所持するものなれば價の如きも安きは數錢より高きは數百金を出づることありされば其材料も世界中の植物中より撰擇し便利にして經濟的のものあり天然に美術的生育をなしたるあり珍奇にして雅致あるあり加ふるに名匠が意を凝したる裝飾を施し金銀珠玉を鑲めたる等殆んど衣類の美麗を飾るに擇ぶ所なし之れ古來日本にて杖と云へば單に老人病人文人墨客僧侶等に限るものゝ如くなるに大に異なる所以にして歐米人は其體格姿勢を完全に保持せんが爲めの補助具として用ひたるもの漸次身體裝飾の一として美術的進化をなせるものなり故に日本人にして洋杖を携帶せんと欲せば其間自ら之れに相當する心得なかるべからず

西洋人は通例右の手を横に眞直に伸し胸の中心より指先迄の寸方を適當とせり

二、氣節に由りて輕重を異にす夏期にありては竹、籐、棕、梧竹等細く輕きものを可とす

三、服装に應じて洋杖の裝飾及び其の色合等の調和を可とす

四、老人は殊に輕くして丈夫なるものを可とし兒童には輕くして細きものを可とす

五、兒童成年者等は務めて姿勢を正しく維持するを目的として携帶するを要す

▲洋杖を作るに就きて

洋杖は種々の紀念物或は賞品として時に應じて意匠を案じ製作する時は最も趣味多きものなり今弊店にて扱ひし一二の例を擧ぐれば

一、某前代議士は鹿兒島産の黄楊の若木根付を以て頗る優美なる洋杖を製作し之を友人に紀念物として贈られたり

二、某名士は支那革命軍に従軍し戦地より竹を採り來りて之に適當

なる裝飾と紀念文とを彫刻せられたり

三、某紳士は地方より轉居に際し庭にありし祖父手植の木蘭の枝にて洋杖を作り其裝飾に自家の定紋を刻せり

四、某海軍士官は南洋航海に際し土人の携へたる奇木を購ひ來りて之を洋杖となし嚴父の許へ土産とせり

五、深山の奇樹奇勝の珍木古家の用材各々紀念物として製作をなせしものは枚擧に暇あらず中には愛犬の死せしを偲ぶ爲に其足をハンドルトなし蛇の皮を張りたるもあり

▲ステツキ用として木材を採集せんとする時の心得

洋杖は板木地にて作れるものは美は美なれども自然木の風雅にして趣味掬すべきは自家の苦心を以て採集せしもの、比には遠く及ばず

一、自然木を採集せんとする時は長四尺五寸以上を可とす

洋杖の長二尺九寸乃至三尺としハンドルー一尺五寸とす

二、木によりては根付に採りて雅致あるものに仕上がるものあり

三、幹を用ひんとする時は枝を切拂ふ際に幹に疵痕の殘らぬ様にな

- し且つ木皮に切疵を附けざるこゝ
- 四、木皮を剥取り亞肌を現はして仕上げんを欲せば乾かぬ中に製作すべし
- 五、枝を用ひて片鐘木形のハンドルを作らんとする時は幹の方を五寸位附けて切採るべし

▲材料を植物學に應用すること

洋杖の材料を歐米各國にては植物研究の材料となす風習あが如し最近出版の日録などには南米の籐亞弗利加のイバラ南洋の棕梠印度の黒檀等各地特有の植物を網羅せんとするの傍ら其略解も附記せらるゝが如し、我邦の如きは世界中にありて植物の種類豊富なりと云ふを以て洋杖の材料を探ぐらば最も興深く植物學の趣味も自然に涵養せらるべし現に弊店の如き植物學上の趣味を以て洋杖の注文を受けたる例も少なからず

- 一、某氏はステツキ用材の葉を其ステツキに金屬を以て象眼せられたり
- 二、南洋の某紳商は棕梠の一種の彈性を定めんとしてステツキのハ

ンドルヲ製作せられたり

- 三、某氏は九州にて泥中にありしイスの黒色に變じたる木材を用ひてステツキを作り其強弱を試みられたり
- 四、某氏は臺灣にありし一種の竹に其土地の名稱と學名を彫せらる

▲ステツキの持方に就きて

東京朝日新聞(六月廿八日掲載)に外人の見たる日本紳士の不作法と題する記事中にステツキに關する注意すべき事項ありたれば之を茲に記載す

- 一、日本の紳士はおそろしい長い杖を以て居る日本紳士が杖を携へ居るのを見るに何か大きな邪魔物であるかの如く見ゆる(或日のこゝを比べたら日本紳士のステツキは五尺餘りの日本紳士とステツキの長さを比べたら日本紳士のステツキは二寸も長かつたので大笑をした事がある)
- 二、日本の紳士は折々ステツキを地の上に引く西洋では馬鹿かだらしなしのすることだ
- 三、日本の紳士は袋(風呂敷包)か、へてステツキを持たぬが大變見づともない

ステツキ界の新傾向

(帝國通信實業時報 明治四十五年四月十五日所載)

加工品よりも自然木
最新流行は佛國品

▲ステツキの需要

今日紳士と稱される様の人々の外出には、洋服でも和服でも十中の八九迄は常に洋杖を携帯する。洋杖が斯く身體裝飾品の一つの様に需要さるゝに至つたのは無論維新後泰西の文物がドシ／＼入り來つたと同時に、風俗上の一變轉を見た結果、誰も彼れも洋風を真似るに至つたからである。昔は杖と云へば竹、梓、柏、楓などの細く長いものを老人が迷信的に携帯するが、さもなくば文人墨客が偶々風流に持たのに過ぎぬが、外國では女子供労働者等は格別として大抵の人は携帯する。而もフロックコート

の時には黒檀さか、脊廣服やモーニングの時には何ささか、又老人は餘り頭飾りのあるのなごを持たないさか、夫れは頗る八釜しい定めがある。併し日本ではそんな嚴重な掟は毫もないから十人十色、人様々なものを持つて歩くが、漸次改めらるであらう。兎も角今日洋杖の需要は頗る驚く可きもので内地産は勿論輸入品も非常な額に達し、尙今後愈々益々需要増加の趨勢にある。加之彼の一葦帶水の支那も今や三百年の昏睡から醒めた今日、其の風俗民情の大變化は恰も我が維新當時の如く、大に新奇な服装品の需要となり従つて洋杖なども大流行を呈するに至るであらう。

▲舶來品と日本品

最近五六年間のステツキ需要額は從來の倍數位に進んで居る。而其の多くは日本品に非ずして高價な舶來品に之を待つて居るのは、頗る遺憾の事である。舶來品では從來西洋櫻、籐、コ、ア、西洋怪、櫻、

黒檀、紫檀、鐵刀木、支那竹、葡萄等で、是等は主として英、米、獨の三國より輸入せられ、唯だ籐や、黒檀、紫檀、鐵刀木の如き熱帶地方の木が濠州、印度等より支那竹が支那より輸入されたのみである尤も以上熱帯木及び棕櫚竹などは、臺灣よりも移入されぬではないが、矢張其の多くは舶來品である。値段は頭飾に金、銀、角、寶石類のやうな高價品を着ければ別として、然らざる限り安きは七八十錢臺より五六圓止まりである。以上の各品何れも一得一失はあるが、先づ西洋櫻は日本櫻の様に、衣皮脆からず且つ斑色がなくて、總體赤味の色艶麗しく、コ、アは布哇の特産にて虎斑様の木理鮮かなのに甚だ雅味がある。又籐は軽く上品な點に於て珍重されるが、殊に節無し、太物など、來ては、價も高い代り頗る美事なものだ。次に樺、西洋檜何れも木理木質共に味ふべき雅趣があり、支那竹亦た其の斑紋の得難き所に妙味がある。其他紫檀、黒檀、鐵刀木、各其の色滑に、木理に木膚に特色のあることは世人の周知する所だ。唯だ此頃まで最も流行を極めた葡萄は如何か

さ云ふに、之れ亦た木皮に疣の様な點々のある所など寔に珍らしいものだが、さうも長く持つと裂が來たり、歪を生じたりする缺點がある。舶來品と云へば大體這様なものだが、翻つて日本品を見れば何と云つても日本獨特のものは竹であらう。竹にも種々の種類はあるが先づ松島産の松島竹は身の厚いのに特色があり、播州産、江州産、越前産の一名葦竹即ち葦の太いのに似たのは色の白く艶の美しいので珍重され、近來は盛んに輸出されて居る。其他龍紋のある夜叉竹、小紋のある小紋竹、土佐の化龍竹等何れも揃すべき味がある。次に是亦我國特有の櫻では吉野、奈良等から盛んに出されるけれども、惜いことに所謂西洋櫻の様に木皮が強くないので、一寸しても剥ける虞れのあるのが難だ。其他北海道のサピタ、路、樺太の唐松、臺灣の石楠木、久留米の竹の網塗及び諸所で産する海松、一角、鯨骨、鶴の足、楠天、山萩、椿、紅葉、躑躅、梓、白檀、白旗、牛殺等、各其特色があつて、其種類も實に雑多であるが、値段は安きは二三十錢臺から高きは二三百圓に至る。尤も葦竹

などには往々彫刻を施し、而も其の彫刻者の如何によつては優に七八圓の高値を呼ぶものもあるが、是等は加工賃として材其物の價値は別に論すべきである。日本品の大體斯の如し。然らば目下の嗜好流行は如何であらうか。

▲自然木と流行品

舶來品日本品共に種々の裝飾彫刻などをした加工品と自然其儘の自然木とあるが、目下は孰れが珍重されて居るか、夫れは水彩畫の様な派手やかなのを好く者、南畫の様な筆勢の美事なのを尙ぶ者との別ある如く人様々ではあるが、併し愈しても眞に雅趣あり雅味あるものと云へば、先づ加工品よりも自然木に俟たればならぬ。だから世にステッキ道樂など、言はれる人になるに加工品の美よりも自然木の雅味津津たるのを擇ぶ。見れば見る程雅趣湧くと云ふのは自然木の特徴で、決して加工品には見られないことであらう。現に

洋杖商などに聞いて見ても近年加工品よりも自然木の方が賣行が良く、裝飾なども従來の様にケバ／＼したもののよりは、大に美術的に、意匠を凝らしたものが望まれること、以下一般嗜好の傾向も窺知される譯である。而して殊に最近流行の品は、今回新に輸入されたコンゴ、アドレレー、バヒヤド一等の種類で、何れも其の木理、葡萄に似て葡萄よりも細く又木質堅固にして葡萄の如く裂けや歪みの恐れがない。色は白、薄黒、薄赤の三種あつて、自然木の頗る美事なものである。且つ従來舶來品と云へば、英、米、獨の三國が主であつたのに、是等の品は皆芝土橋際、林屋が率先して輸入した。佛國よりの初渡來だと云ふから、之を魁として將來、大に佛國品の自然木が珍重される、様な傾向となるであらう。而も我國には専門の洋杖商とては殆んどなく、僅に前記土橋際、林屋か日本橋通の高橋屋位に止まり、市内の大店すら洋品片手の店を飾るに過ぎない。林屋などが時々、歐米のカタロカを取寄せて、流行品の十ダースか廿ダース位を引き、夫れを市

三四
内の各店へ五本か三本宛配る様な状態では彼の廣漠な支那の地で
商戰場裡の勇者たる事は到底覺束ない。



▲猫背及撫肩(丸き肩)に就きてのステツキ療法

(英國千九百十二年七月十六日發行テロー・ミロー掲載)

(英國ホクエル會社
よりの通信の意譯)

有名なる某ドクトルが言によれば

「ウォーキング・ステツキを携帶せずして歩行する時は手の所置
に究し識らずくポケットに入れることになる斯くすれば自
然に首を前に垂れなにとなく活氣なき思案姿になりて姿勢を
正しく保ちて歩行し能はざるの習慣が附くものなり
是れに反してウォーキング・ステツキを携へ歩行する時は手足
の運動に順つて手が自然と後方へひける氣味合になり胸部は
前へ出で肩は適當なる位置を保ちて活潑なる歩行をなすが故
に遂には猫背又撫肩の者をなくし見苦しき歩るき振りを直す
の慥なる理由あり」

ウォーキング・ステツキの長さは腰に達するを以て適當となす

WALKING STICK CURE

For **ROUND SHOULDERS**
& **SLOUCHING GAIT!**

(FROM "THE DAILY MIRROR"
16th July. 1912)

A Well-known doctor said yesterday:
"carry a **Walking Stick** and you will never be **round shouldered** or have your **chest in your back** instead of in its proper place."

"It stands to reason," he said, "that a **Walking Stick** pulls your **arm back**, and your **chest forward**, whereas, those who do not carry a stick of some sort don't know what to do with their hands, so they put them in their pockets and simply **slouch along anyhow.**"

A Stick should be long enough to reach well up the hip.

(文原信通リヨ社會ルエウホ國英)



禪語入ステツキ

正價金貳圓八拾錢也
銀バンド附金貳圓八拾錢

「扶過^{テハキ}斷橋水^ノ一件歸^ヲ無月村^ニ」

(禪ノ奧儀此語ニ存ス)

右ハ鎌倉圓覺寺管長釋宗海老師ガ特ニ弊店之爲メ撰書サレタル者ヲ彫刻セルモノニシテ我邦特有ノ禪味津々タリ

▲**新案旅行用ステツキ** 正價金參圓五拾錢

右ハ某西洋人ノ示導ニヨリ弊店ニ於テ特ニ製作シタルモノニシテ眞直ナルすてつきニ銀頭銀鎖ヲ附シタレバ旅行用トシテ便利ナルハ輕クシテ手くたぶれ又荷物等ヲ携帯スル時ハ鎖ヲ以テ腕又ハ洋服ノぼたんニ掛ケ宿屋ニテハ己ノ室ヘテ携ヘテ帽子掛ヘ帽子ト供ニ掛ケ置ク時ハ紛失失念等ノ憂ナシ

WALKING STICK CURE

For ROUND SHOULDERS & SLOUCHING GAIT!

(FROM "THE DAILY MIRROR")

16th July. 1912)

A Well-known doctor said yesterday: "carry a Walking Stick and you will never be round shouldered or have your chest in your back instead of in its proper place."

"It stands to reason," he said, "that a Walking Stick pulls your arm back, and your chest forward, whereas, those who do not carry a stick of some sort don't know what to do with their hands, so they put them in their pockets and simply slouch along anyhow."

A Stick should be long enough to reach well up the hip.

(文原信通リヨ社会ルエウホ國英)



禪語入ステツキ

正價 銀バンド 附金貳圓八拾錢也

「扶過^{テハキ}斷橋水^ノ一件歸^{テハル}無月村^ニ」

(禪ノ奥儀此語ニ存ス)

右ハ鎌倉圓覺寺管長釋宗海老師ガ特ニ弊店之爲メ撰書サレタル者ヲ彫刻セルモノニシテ我邦特有ノ禪味津々タリ

▲新案旅行用ステツキ 正價金參圓五拾錢

右ハ某西洋人ノ示導ニヨリ弊店ニ於テ特ニ製作シタルモノニシテ眞直ナルすてつきニ銀頭銀鎖ヲ附シタルバ旅行用トシテ便利ナルハ輕クシテ手くたぶれ又荷物等ヲ携帯スル時ハ鎖ヲ以テ腕又ハ洋服ノぼたんニ掛ケ宿屋ニテハ己ノ室ヘ携ヘテ帽子掛ヘ帽子ト供ニ掛ケ置ク時ハ紛失失念等ノ憂ナシ

大正元年九月十七日印刷
大正元年九月二十二日發行

(チーキング・ステツキ奥附)

複製不許

【錢五十二金價定】

編輯者

東京市芝區新幸町二番地

早矢仕民治

發行者

東京市芝區新幸町二番地

早矢仕治郎

發行所

東京市芝區新幸町二番地

洋傘商林屋

印刷者

東京市京橋區本八丁堀四丁目五番地

椿市太郎

東京市京橋區本八丁堀四丁目五番地

終